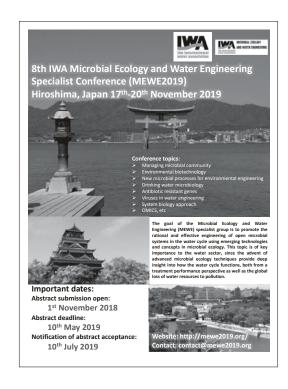




④ 国際水協会 Microbial Ecology and Water Engineering 会議 2019年11月17日~20日に広島にて開催予定の国際水協会微生物生態と水環境工学専門家 会議を、専任教員の栗栖太准教授が実行委員会幹事長として、開催する準備が進められている。



2-2. 国内における活動

1) 国内シンポジウム・ワークショップ

① 第2回 浄水処理技術シンポジウム

一茨城発 溶解性有機物・かび臭物質の新しい除去技術の取り組み一

■日時:2016年11月14日(月)午後1時から(開場:12時)

■場所:東京大学浅野キャンパス武田ホール(武田先端知ビル5階)

■主催:茨城県企業局

■共催:東京大学大学院工学系研究科附属水環境制御研究センター

■後援:茨城県企業公社



体や企業各社、関係団体の皆様に発信するため、シンポジウムを開催いたします。 パネルディスカッションでは、「新しい浄水処理技術の持続的な運転管理に向けて」をテーマに、その課題や今後の方策な

どを水道に深く関わっているパネリストの方々に議論していただきます。

第2回浄水処理技術シンポジウム

- 茨城発 溶解性有機物・かび臭物質の新しい除去技術の取り組みー 2016年11月14日(月)午後1時から(開場12時)



_____ 東京大学浅野キャンパス 武田ホール(武田先端知ビル5階) 東京都文京区弥生2-11-6



最寄り駅	所要時間
本郷三丁目駅(地下鉄丸ノ内線)	徒歩 15 分
本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線)	徒歩 15 分
根津駅(地下鉄千代田線)	徒歩5分
東大前駅(地下鉄南北線)	徒歩 10 分

茨城県企業局 茨城県水戸市笠原町 978 番6
TEL 029-301-4974 E-mail: komu 1@pref.ibaraki.lg.jj 申込書に必要事項を記載のうえ、E-mail でお申し込み下さい。 申込書は当局 HP でダウンロード可能です。

http://www.pref.ibaraki.jp/kigyou/gcms/news/20160930/index.html 申込期限: 平成 28 年 11 月 4 日 (金) ※定員になり次第締め切ります。

先着200名 事前の申し込みが必要です 参加費無料

13:00~	開会・あいさつ 【茨城県公営企業管理者企業局長 中島敏之】
13:05	【司会:東京大学大学院水環境制御研究センター教授 古米弘明】
13:05~	新しい浄水処理技術の導入経緯について
13:15	【茨城県企業局水質管理センター長 伊藤睦雄】
13:15~	研究成果発表
14:15	霞ヶ浦を水源とする新しい浄水処理手法の実証実験 茨城県企業局
14:15~	企業発表
14:45	帯磁性イオン交換樹脂処理の海外導入事例 前澤工業㈱
14.40	オゾン・促進酸化処理の海外導入事例 メタウォーター㈱
14:45~	休憩
15:00~	パネルディスカッション
16:50	「新しい浄水処理技術の持続的な運転管理に向けて」
10.00	座長:東京大学大学院水環境制御研究センター教授 古米弘明
	パネリスト:
	• 国立保健医療科学院生活環境研究部
	上席主任研究官 伊藤雅喜
	・㈱神鋼環境ソリューション水環境技術本部 シニアエキスパート 石丸 豊
	・東京都水道局水質センター
	・ 宋京都が遺局が員とフラー 企画調査課長 高橋和彦
	• 元茨城県企業局実証実験検討委員会委員長
	(現鹿行水道事務所長) 高田浩幸
16:50~	閉会・あいさつ
17:00	「東京大学大学院水環境制御研究センター長 森口祐一」
17:00~	意見交換会 ※別途参加警察。 申込先着 50 名
18:00	会は当日会費として 1,000 円を受付時に現金でお支払いください。



茨城県 企業局

共催 東京大学大学院工学系研究科 附属水環境制御研究センター



後援 茨城県企業公社

② CREST シンポジウム:将来と緊急時における強靭な水管理システム

日時 2017年1月13日13:00-17:00

場所 東京大学本郷キャンパス (山上会館大会議室)

主催 「気候変動に適応した調和型都市圏水利用システムの開発」研究チーム 「安全で持続可能な水利用のための放射性物質移流拡散シミュレータの開発」 研究チーム

共催 JST・CREST「持続可能な水利用を実現する革新的な技術とシステム」研究領域

後援 日本水環境学会、環境科学会

趣旨 気候変動や災害への対応の必要性が増している中で、水道事業体が今後も水利用における安全性と安定性を担保するためには、将来的な水管理と緊急時の水管理の両側面からシステムの強靭性をさらに高めていく必要がある。科学技術振興機構(JST)が推進する戦略的創造研究推進事業(CREST)「持続可能な水利用を実現する革新的な技術とシステム」の枠組みの中で、研究課題「気候変動に適応した調和型都市圏水利用システムの開発(代表:古米弘明)」は、気候変動を考慮した上で水利用方法をデザインするとともに、将来的な平時の水管理について市民を含む様々なステークホルダー間での対話を進めてきた。また、研究課題「安全で持続可能な水利用のための放射性物質移流拡散シミュレータの開発(代表:沖大幹)」では、原子力発電所事故に伴う放射性物質への対応など緊急時における水管理のあり方に向けてモデルシミュレータを開発してきた。そこで、本シンポジウムでは、将来と緊急時における水管理についての強靭性に焦点を当て、望ましい水管理システムについて知を共有する。

対象 水道事業体関係者、研究者など

プログラム

時間	内 容	登壇者
13:00-13:05	開会の挨拶	古米弘明(東大)
13:05-13:30	調和型都市圏水利用システムの実現に向けて	古米弘明(東大)
13:30-13:55	利害関係者間の合意形成に向けた水利用システムのシナリオ生成	中谷隼(東大)
13:55-14:20	プラーヌンクスツェレを活用した水利用システムの将来シナリ オに関する検討	大塚佳臣(東洋大)
14:20-14:30	休憩	
14:30-14:55	安全で持続可能な水利用のための放射性物質移流拡散シミュレータの開発	沖大幹(東大)
14:55-15:20	放射性物質移流拡散シミュレータを用いた避難意思決定ツールの試案	芳村圭(東大)
15:20-15:45	リスク情報と対話~飲食物中放射性物質を例に~	村上道夫(福島県立医科大)
15:45-15:55	休憩	
15:55-16:55	パネル討論	大垣眞一郎 (CREST 研究総括) 古米弘明 (東大) 沖大幹 (東大) 浅見真理 (国立保健医療科学院) モデレータ:有村源介 (水道ネットワーク通信)
16:55-17:00	閉会の挨拶	沖大幹(東大)

③ RECWET シンポジウム

「水道給配水系における細菌管理の課題と最新の動向」

現在、我が国の水道水における細菌管理は、水質基準である「一般細菌」と「大腸菌」に加え、水質管理目標設定項目である「従属栄養細菌」が用いられている。このうち、一般細菌と従属栄養細菌は、水道水中の細菌数を反映する指標とされているが、リスク因子との関連が必ずしも明瞭でない点や、培養に時間を要する点などが課題として指摘されている。また、人口減少の進行によって水道水の滞留が起こりやすくなると、残留塩素が消失しやすくなり、細菌再増殖のリスクが潜在的に上昇することも懸念される。こうした問題意識を踏まえ、本ワークショップでは水道給配水系における細菌管理の課題や最新の動向を共有することを目的とする。

主 催 東京大学大学院工学系研究科附属 水環境制御研究センター

期 日 2017年11月9日(木) 13:30-17:00

場 所 東京大学本郷キャンパス工学部 14 号館 141 号室(東京都文京区本郷 7-3-1) プログラム

13:30-13:35 趣旨説明(東京大学 春日郁朗)

13:35-14:05 非培養法を活用した迅速かつ網羅的な水道水中の細菌管理

東京大学 春日郁朗

14:05-14:35 給配水システムにおける微生物再増殖―レジオネラを例として―

麻布大学 大河内由美子

14:35-15:05 従属栄養細菌数の活用、途中配管や末端蛇口の汚染実態

国立感染症研究所 泉山信司

15:05-15:15 休憩

15:15-15:45 水道水・医療用水中のエンドトキシンの存在状況

国立保健医療科学院 島﨑大

15:45-16:00 東京都水道局

16:00-16:15 神奈川県企業庁

16:15-16:30 発表者調整中

16:30-17:00 総合討論

4 Behaviors of plasmid and host bacteria in nature

微生物科学イノベーション連携研究機構 革新的環境・エネルギー研究ユニットワークショップ

"Behaviors of plasmid and host bacteria in nature"

日時: 2018年11月5日(月) 14:00~16:50

場所:農学部2号館化学第1講義室

参加費・事前申込不要

講演スケジュール

14:00~14:40 Barth F. Smets (DTU) "Transfer and long-term persistence of conjugal plasmids in microbial communities"

14:40~15:20 Haruo Suzuki (Keio University) "Predicting plasmid host range based on oligonucleotide composition"

15:30~16:10 Hideaki Nojiri (UTokyo) "Insensitivity to plasmids in some bacteria and its ecological role"

16:10~16:50 Masaki Shintani (Shizuoka University) "Behaviors of conjugative plasmids in different environmental conditions"





5 Meeting with ISU and ICHARM

Time and Date: 13:30-15:30 on 16th, Friday, November 2018

Place: Meeting Room in 2nd Floor, ICHARM

Topic

1. Introduction of Isabela State U, our water research center and activities on climate change adaptation and disaster management in Phil. river basins in order for ICHARM to develop possible interest on sharing their expertise and

other resources;

- 2. Learn about ICHARM trainings, MS and PhD programs on disaster management and the opportunities of sending students and faculty to avail on such educational programs;
- 3. Receive orientation on ICHARM's Flood and related R&D programs, tools and softwares and possibility of adaption in the Philippines.

Agenda

13:30 Opening

o Mr. Sawano

o Prof. Koike

o Representative of the visitors

13:40 Outline of ICHARM by Prof. Koike

14:00 Introduction of ISU

Prof. Balderama (ISU) <u>"Water-related Hazards and Disaster Risk in Cagayan River Basin, Philippines"</u>

14:30 ICHARM researches, training (MS & PhD) and discussion

o Dr. Miyamoto

o Dr. Tamakawa

o Dr. Shrestha

o Dr. Oohara

o Dr. Shibuo

15:25 Closing



Visitor

1) Prof. Orlando Balderama (Professor of College of Engineering at Isabela State University and visiting Professor at School of Engineering University of Tokyo)

- 2) Dr. Paul Villarete (AIT-structural engineering), City Administrator, Cebu City, Phil.
- 3) Dr. Danny Jaque (AIT-water resources engineering), President Hydrotech consulting, Inc, Cebu City.
- 4) Dr. Miaomiao Liu: (Post-doctoral fellow, Dept. of Urban Eng., UT)
- 5) Dr. Lee, Sung Ae: (Post-doctoral fellow, RECWET, UT)
- 6) Dr. Hop Phan: (Post-doctoral fellow, Dept. of Urban Eng., UT)
- 7) Mr. Jantarakasem Chotiwat: (Master-course student, Dept. of Urban Eng., UT)
- 8) Prof. Hiroaki Fururumai (Professor of RECWET, UT)
- 9) Mr. Kyuhyun Park: (Doctor-course student, Dept. of Urban Eng., UT)

ICHARM

- 1) Prof. Toshio KOIKE
- 2) Hisaya, SAWANO
- 3) Yoshio, TOKUNAGA
- 4) Dr. Miho Oohara
- 5) Dr. Shrestha Badri Bhakta
- 6) Dr. Mamoru Miyamoto
- 7) Dr. Katsunori Tamakawa
- 8) Dr. Yoshihiro Shibuo

2) RECWET Special Seminar Series

第 2 期から、RECWET Special Seminar Series として著名な研究者による講演会を積極的に 開催している。2012 年からは、"RECWET Special Seminar Series" としてシリーズ化した。

番号	開催日	講演者	所属	タイトル	参加人数	学外公開
16	2016年 6月3日	Dr. Mohammed Abed	バングラデシ ュ工科大学	Research Engagement on Natural Hazards and Environmental Quality -Current and Emerging Collaborationis	27名	
17	2016年 7月20日	Prof.Jianying Hu	北京大学	Screening of chemicals which can induce intersex in model fish:causal analysis of intersex incidence in wild fish	29名	0
18	2016年7月22日	Dr. Ho Kyong Shon	シドニー 工科大学	FORWARD OSMOSIS: WHERE TO GO"	30名	0
19	2016年 12月13日	Prof. Moooyoung Han	ソウル大学	Innovative Rainwater Harvesting Solutions for SDGs	27名	0
20	2017年 2月9日	Prof. Barth Smets	デンマーク 工科大学	Microbial communities of rapid sand filters: Activity, diversity, structure, and novel physiologies	32名	0

番号	開催日	講演者	所属	タイトル	参加人数	学外公開
21	2017年 3月6日	Prof. Wen Tsu Lu	イリノイ大学 アーバナシャ ンペーン	"Anaerobic Digestion Microbiome: Impact of operation-driven heterogeneity and feed-associated population	26名	
22	2017年 3月14日	Dr. Alicia Kyoung-Jin An	香港城市大学	"Engineering the re-entrant hierarchy and surface energy for wetting and fouling prevention: the expanded application of membrane distillation for resource recovery from wastewater	26名	
23	2017年 5月26日	Dr. Chung Hak Lee	ソウル大学	"Paradigm Shift for Biofouling Control & Energy Savings in MBR:Bacterial Quorum Quenching	30名	0
24	2018年 1月23日	Dr. Manish Kumar	インド工科 大学	Water Quality Issues of the Tropical River Watershed in the Context of Climate Change, Urbanization and Population Growth: A microcosmic perspective of the Brahmaputra River	24名	0
25	2018年 1月25日	Prof. Chettiyappan Visvanathan	アジア工科 大学	"Water quality and security in Asia Pacific: What 3R and Circular Economy can Offer	22名	
26	2018年 4月6日	Dr. Anna Lintern	モナシュ大学	"Explorations of spatial and temporal water quality variability	27名	0
27	2018年8月23日	Prof. LI Renhui	中国科学院	"Cynaobacterial blooms in China: distribution, toxins and treatment"	20名	0
28	2018年 9月21日	Dr. Jia Niu	福建工程学院	Development of a robust denitrification shallow filter for meeting the latest national standard of China"		
29	2018年 9月21日	Prof Xiaochen Chen	福州大学	Soil pollution, remediation & health risk assessment in China"		
30	2018年 9月27日	Dr. Oskar Modin	チャルマーズ 工科大学	Good and bad microbes in environmental engineering		
31	2018年 10月9日	Dr.Philipp Staufer	スイス連邦工 科大学チュー リヒ校	Challenges with the elimination of micropollutants in the Canton Solothurn, Switzerland	27名	
32	2018年 10月22日	Dr. Brian J. D'Arcy	Independent environmental Consultant	Wealth Creation without Pollution Designing for Industry, Ecobusiness Parks & Industrial Estates	29名	0
33	2018年 12月10日	Prof. Orlando F. Balderama	イザベラ州立 大学	Decision Support System for Climate Change Adaptation and Management of Water Hazards in River Basins: The Case of Cagayan River Basin, Philippines	30名	0
34	2018年 12月14日	Prof. Barth F. Smets	デンマーク 工科大学	N2O Dynamics of N-transforming microbial communities: from mechanistic insights to full-scale process control	27名	0
35	2019年 1月28日	Dr. Norhayati Abdullah	マレーシア 工科大学	Industrial Wastewater Studies- Miscellaneous	32名	0
36	2019年 2月6日	Prof. Chettiyappan Visvanathan	アジア工科大学	Water Quality and Security in Asia Pacific: Implications Towards SDG	26名	

3) 都市・水インフラの将来を考える会

開催日	講演題目	講師	参加者
2017年11月7日	都市の未来と水	東京大学大学院工学系研究科 浅見 泰司氏	25名(企業 14名、官公庁 7名、大学・研究機関 4名)
2018年1月19日	水道・下水道事業の官民連携の未来	新日本有限責任監査法人 福田健一郎 氏	47名(企業 33名、官公庁 8名、大学・研究機関 6名)
2018年3月7日	TMP および TMP ジャンプ予測モデルを 利用した省エネ型 MBR 散気モードの設計	東京大学大学院工学系研究科 船津 公人 氏	35名(企業 26名、官公庁 4名、大学・研究機関 5名)

2-3. 出版、情報発信

1)世界保健機関「衛生安全計画 汚水・排泄物の安全な処理と再利用の手引き」の共訳

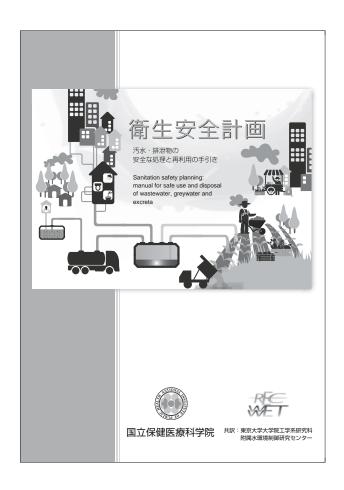
国立保健医療科学院とともに、World Health Organization (2015) Sanitation Safety Planning: Manual for Safety Use and Disposal of Wastewater, Greywater and Excreta の日本語訳をおこなった。冊子として印刷するとともに、RECWETwebページ上に公開し、広く一般に活用できるようにした。

以下紹介文より:

世界保健機関 (WHO) は、2015 年「衛生安全計画 汚水・排泄物の安全な処理と再利 用の手引き」を公開しました。

衛生安全計画(Sanitation Safety Planning)とは、衛生システム事業者が健康への便益を最大化し、また健康リスクを最小化する助けとなるツールです。最も効果がある点に的を絞ったリスク管理の取り組みを優先し、徐々に改善していくように事業者を導きます。その結果、大衆や公的事業機関に対し、健全なリスク管理に基づいた衛生処理システムの実施状況について保証することができます。

衛生安全計画は、公衆衛生の一連の工程に関わる多数の利害関係者(保健部局、公共事業体、 民間部門、環境や農業の官署を含む)が、衛生による健康への便益を最大化するために行って いる努力を連携し、また、政策への対話や変革を活発化させるために用いることができます。



2) Web ページ

シンポジウムやセミナーなど、各種イベントの開催告知や、開催報告を web ページで行い、広く広報に務めている。





3) 水関連研究メールアドレスリスト

学内において水に関連する研究をおこなっている研究者に対して、センター主催、共催イベントや関連イベントなどの情報提供をメールにて随時おこなっている。現時点でのリストへの参加者は以下のとおりである。

氏 名	所属	氏 名	所属
浅見 真理	工学系	佐藤 弘泰	新領域創成科学
穴澤 活郎	新領域創成科学	妹尾 啓史	農学生命科学
飯田 俊彰	農学生命科学	滝沢 智	工学系
池内 幸司	工学系	知花 武佳	工学系
内海 信幸	生産研	徳永 朋祥	新領域創成科学
梅田 靖	工学系	飛野 智宏	環境安全研究センター
沖 大幹	生産研	中島 典之	工学系
小口 高	空間情報科学研究センター	中谷 隼	工学系
小熊久美子	先端科学技術研究センター	長棟 輝行	工学系
尾田 正二	新領域創成科学	野尻 秀昭	農学生命科学
小貫 元治	新領域創成科学	橋本 崇史	工学系
春日 郁朗	工学系	端昭彦	サステイナビリティ学連携研究機構
片山 浩之	工学系	羽藤 英二	工学系
加藤隆史	工学系	浜崎 恒二	大気海洋研
川崎 昭如	工学系	原田 昇	工学系
木口 雅司	生産研	平林由希子	工学系
北澤 大輔	生産研	福士 謙介	サステイナビリティ学連携研究機構
木村 匡臣	農学生命科学	古米 弘明	工学系
窪田 亜矢	工学系	溝□ 勝	農学生命科学
蔵治光一郎	農学生命科学	味埜 俊	新領域創成科学
栗栖 太	工学系	三宅 亮	工学系
栗栖 聖	工学系	森口 祐一	工学系
鯉渕 幸生	新領域創成科学	山室 真澄	新領域創成科学
木暮 一啓	大気海洋研	山本 和夫	環境安全研究センター
迫田 章義	生産研	吉田 丈人	総合文化
佐々木 淳	新領域創成科学	吉村忍	工学系
佐藤 愼司	工学系	芳村 圭	生産研

3. 研究

3-1. 受入研究プロジェクト

水環境制御研究室

小塚光明正								
			二重下線: センター専任教員 下線:センター協力教員 点線:センター連携教員、 運営委員		受入額(千円)			
資金の種類	種目等	研究課題名	研究代表者 (所属)	研究分担者 (所属)	2016	2017	2018	間接 経費
科研費	基盤研究 (A)	都市沿岸域における雨 天時越流水に起因する 糞便汚染の評価手法の 開発	古米弘明	片山浩之 春日郁朗 栗栖 <u>太</u> 高田秀重 (東京農工大)	22,880	12,090	7,280	込
科学技術振興機構	CREST	ソフトナノ空間を形成 する自己組織化液晶高 分子を基盤とする革新 的輸送材料の創製	加藤隆史 (化学生命 工学専攻)	<u>片山浩之</u> <u>栗栖 太</u> その他×名	3,300	5,400		抜
共同研究	メタウォーター	再生水プロセスにおけ る病原性微生物の指標 評価の研究	<u>古米弘明</u>	<u>片山浩之</u> 春日郁朗 栗栖 太	8,000	8,000		
受託研究費	未来社会創造 事業	管路水位等のリアルタ イムセンシング技術と 観測情報を活用したデ ータ同化手法の開発 (JST)	古米弘明	<u>栗栖 太</u> <u>春日郁朗</u> その他 4 名		3,350	10,300	抜
共同研究	産学連携	お台場における海水浴 予報システムの構築 (港区役所他)	<u>古米弘明</u>	大浦 昇 (港区芝浦港南 地区総合支所 協働推進課) 他5名			824	抜
受託事業費	二国間交流事業	インド・ブラマプトラ 流域における気候変動 を考慮した新たな水供 給戦略の構築 (JSPS)	古米弘明	片山浩之 栗栖 <u>太</u> 春日郁朗 他 1 名	800	960		抜
科研費	挑戦的萌芽研究	雨水吐き口における水 位と電気伝導度の変化 に基づく雨天時越流水 汚職負荷量の評価	古米弘明	春日郁朗	1,700	1,000		抜
科研費	外国人特別研 究員奨励費	藻類毒素発生の早期警報スクリーニング用のグラフェン電気化学的センサの開発(JSPS)	古米弘明	Zhang Wei (Univ.of South Australia)	1,100	700		抜
寄付金		将来気象データを用いた印旛沼流入河川の水温と熱量の季節変化に関する検討(河川財団)	<u>古米弘明</u>		989			抜

			下線:セング	ター専任教員 ター協力教員 ター連携教員、 委員	受	入額(千月	円)	
資金の種類	種目等	研究課題名	研究代表者 (所属)	研究分担者 (所属)	2016	2017	2018	間接 経費
寄付金		工学研究の為 (株式会 社東芝インフラシステ ムソリューション)	<u>古米弘明</u>		825			抜
寄付金		工学研究の為(株式会 社明電舎)	古米弘明		825			抜
寄付金		工学研究の為(東芝インフラシステムズ株式会社)	古米弘明		825			抜
受託研究費	GAIA プロジェクト	河川・下水道のシーム レスモデルを用いたリ アルタイム浸水予測手 法の開発	渋尾欣弘 (国立開発 研究法人士 木研究所)	古米弘明 佐藤基明司 (社会基政) 田島芳 (社会基盤) 専工 事工 事工 (社会基盤) 李星 全型 也2名	726	616		抜
受託研究費	GAIA プロジェクト	雨天時に市街地から流 出するノンポイント汚 濁負荷量の予測モデル 開発	尾崎則篤 (広島大学 大学院工学 研究院)	<u>古米弘明</u> 中島典之 他 2 名	0	0		
共同研究	メタウォーター	再生水循環におけるク リプトスポリジウムに よるリスク評価	<u>古米弘明</u>	片山浩之		540		込
環境省	環境研究総合 推進費	精密質量分析計を用い た網羅的分子同定による 湖沼 COD 成分の解明	春日郁朗		6,059	6,059		込
環境省	環境研究総合 推進費	水系感染微生物による 水環境汚染の把握と微 生物起源解析の活用に 関する研究	片山浩之	<u>栗栖</u> <u>太</u> その他 10 名	35,403	35,426	33,751	抜
共同研究	日鉄住金	下水中の大腸菌の迅速 計測法としてのフロー サイトメーターの検討 (日鉄住金)	春日郁朗		1,261			抜
科研費	若手(A)	日和見病原細菌の水道 水中における再増殖機 構の解明と制御条件の 検証	春日郁朗			10,600	3,100	抜
共同研究	東京都水道局	生物活性炭吸着池の硝 化微生物に関する共同 研究(東京都水道局)	春日郁朗		4,534			抜
共同研究	東京都水道局	生物活性炭吸着池における生物学的浄化作用に関する共同研究 (東京都水道局)	春日郁朗			4,534	4,534	抜

			下線:センタ	ター専任教員 ター協力教員 ター連携教員、 委員	受,	入額(千F	円)	
資金の種類	種目等	 研究課題名 	研究代表者 (所属)	研究分担者 (所属)	2016	2017	2018	間接 経費
共同研究	東京都水道局	浄水処理における生物 学的安全性に関する共 同研究	片山浩之		4,501	4,534		
科研費	基盤研究(B)	浄水処理過程における エンドトキシン高産生 細菌の探索と制御に関 する研究	島崎 大 (保健医療 科学院)	春日郁朗			1,700	抜
共同研究	キリン(株)	次世代シーケンサーを 用いた水環境細菌の網 羅的解析について	春日郁朗		421	421	421	抜
科研費	厚労科研	水道水質の評価及び管 理に関する総合研究	松井佳彦 (北大)	片山浩之 春日郁朗		1,500	1,360	抜
科研費	厚労科研 (AMED)	日本医療開発研究機構 感染症実用化研究事業 新興・再興感染症に対 する革新的医薬品等開 発推進研究事業「下痢 症ウイルスの分子疫学と 感染制御に関する研究」	片山和彦 (国立感染 症研究所)	<u>片山浩之</u>	769			抜
科研費	基盤研究(B)	日本で発生しうる輸入 感染症予見を目的とし たスペインにおける下 水中病原微生物の固定	佐野大輔(北大)	<u>片山浩之</u>	500			
科研費	基盤研究(A)	ノロウイルス感染症制 御を可能とする水イン フラの実現	大村達夫 (東北大)	片山浩之			2,000	
科研費	基盤研究 (B)	糸状性コウレオスリックス属細菌の制御による下水処理活性汚泥の 固液分離向上化	新田見匠 (横浜国立 大学)	<u>栗栖 太</u>	500	500	500	抜
科研費	基盤研究 (B)	精密質量分析計を用いた未知スクリーニング分析による浄水要監視候補物質の抽出	栗栖 太	春日郁朗 高梨啓和 (鹿児島大学) 島崎 大 (国立保健医 療科学院)		4,400	4,030	抜
科研費	特別研究員奨励費	嫌気ベンゼン分解微生 物の遺伝子解析による 分解機構解明	<u>栗栖 太</u>				1,200	込
科研費	挑戦的萌芽研 究	環境中における大腸菌 の増殖基質を探る	栗栖 太			2,300	2,690	抜
共同研究	栗田工業(株)	ベンゼン汚染土壌およ び地下水を対象に分解 菌の集積培養を行う	<u>栗栖 太</u>		1,000	2,000	1,000	抜
共同研究	成友工業 (株)	建設工事における土壌 汚染処理に関する研究	<u>栗栖 太</u>		1,000	2,000		抜

			下線:センダ	ター専任教員 ター協力教員 ター連携教員、 委員	受	入額(千F	円)	
資金の種類	種目等	研究課題名	研究代表者 (所属)	研究分担者 (所属)	2016	2017	2018	間接 経費
環境省	環境研究総合 推進費	水環境保全に向けた要 調査項目の一斉評価手 法の開発と要調査項目 候補選定への展開	栗栖 太	春日郁朗中島典之		28,974	37,660	抜

環境微生物機能研究室

			二重下線: センター専任教員 下線:センター協力教員 点線:センター連携教員、 運営委員		受.	入額(千F	円)	
資金の種類	種目等	研究課題名	研究代表者 (所属)	研究分担者 (所属)	2016	2017	2018	間接 経費
共同研究	積水化学工業 株式会社	下水管渠の水質改善能 力の評価と向上に関す る研究	佐藤弘泰		1,000	0	0	込
共同研究	水 ing 株式会 社	活性汚泥の初期吸着に 関する基礎研究	佐藤弘泰		7,000	0	0	込
共同研究	日鉄住金環境 株式会社	簡易核酸抽出技術の開 発	佐藤弘泰		0	0	495	込
公益信託 下水道振興 基金	「東日本大震 災復興」研究 助成	下水管内へのスポンジ 装着による水質浄化に ついての検討	佐藤弘泰		1,000	0	0	抜
公益信託 下水道振興 基金	「東日本大震 災復興」研究 助成	管路内浄化を活用した 仮設住宅用下水道シス テムの開発	佐藤弘泰		0	1,000	0	抜
科研費	基盤研究(C)	下水管路内浄化におけ る間欠接触酸化の微生 物相への影響	佐藤弘泰		0	0	2,210	込

環境質リスク管理研究室

			二重下線: センター専任教員 下線:センター協力教員 点線:センター連携教員、 運営委員		センター専任教員 下線:センター協力教員 受入額 (千円) 点線:センター連携教員、 運営委員				円)	
資金の種類	種目等	研究課題名	研究代表者 (所属)	研究分担者 (所属)	2016	2017	2018	間接 経費		
科研費	若手(B)	クオラムセンシングに 基 づ く 生 物 化 学 的 MBR 膜ファウリング 制御手法の検証	飛野智宏		1,100			抜		

			二重下線: センター専任教員 下線:センター協力教員 点線:センター連携教員、 運営委員 研究代表者 研究分担者		受,	入額(千F	円)	
資金の種類	種目等	研究課題名	研究代表者 (所属)	研究分担者 (所属)	2016	2017	2018	間接 経費
科研費	若手(B)	汚泥フロック外微粒子 に着目した MBR 膜ファウリング機構の解明	飛野智宏			1,900	1,400	抜
共同研究	三菱ケミカル	膜分離活性汚泥法における微生物間情報伝達機構と膜ろ過性の関係に関する研究	飛野智宏	中島典之			1,200	込
共同研究	住友電工	浮遊担体と促進酸化を 用いた膜分離バイオリア クターにおける PTFE 膜 ファウリング物質の解析	飛野智宏			1,100		込
共同研究	クボタ	MBR 処理プロセスに おける微生物間情報伝 達がファウリングに及 ぼす影響評価	飛野智宏		500	500		込
寄附金	オルガノ	工学研究のため	飛野智宏				1,000	込
研究助成金	鉄鋼環境基金	遺伝子発現および代謝産物の網羅的解析に基づく 汽水産底生甲殻類への影響要因推定手法の開発	中島典之	飛野智宏	1,500	1,000		込
研究助成金	下水道振興基金	市街地から雨天時に流 出する汚濁負担の調査 一毒性負荷量の検討一	尾崎則篤 (広島大学)	中島典之	400	400		抜
受託研究	国土交通省	雨天時に市街地から流 出するノンポイント汚 濁負荷量の予測モデル 開発	尾崎則篤 (広島大学)	和田桂子 (琵琶湖· 淀川水質浄化 研究所) 中島典之 村上道夫 (福島県立 医科大学)	400	400	_	抜
受託研究	環境省推進費	水環境保全に向けた要調査項目の一斉評価手 法の開発と要調査項目 候補選定への展開	栗栖 太	中島典之、 春日郁朗	_	2,536	1,720	抜
研究助成金	戸田財団	都市雨天時排水の生態 系影響要因解明へ向け た底性生物遺伝子の発 現・代謝物解析の適用	中島典之		_	_	500	抜
共同研究	新日鐵住金	底生甲殻類を用いた新 規底質毒性試験手法の 開発	中島典之		1,080	_	_	抜

都市サステイナビリティ研究室

			二重下線: センター専任教員 下線:センター協力教員 点線:センター連携教員、 運営委員		受入額(千円)			
資金の種類	種目等	研究課題名	研究代表者 (所属)	研究分担者 (所属)	2016	2017	2018	間接 経費
科研費	基盤研究(A)	東南アジアにおける環 境と健康のデータベー ス構築	福士謙介	渡部 徹 (山形大) 渡辺幸三 (愛媛大)		13,520	14,040	込
科研費	基盤研究(B)	ミャンマー連邦共和国 村落部における衛生的 水供給システム普及に 関する実践的研究	北脇秀敏(東洋大)	福士謙介 眞子 岳 (東洋大) 松行輝昌 (大阪大)	3,640	2,860	2,340	込
科研費	基盤研究 (B)	発展する中国華北地方 農村の環境保全に関わ る要因の調査	福士謙介	森原徐(国)、李(敕)、栗浦(田)、栗田镇、田)、京、東田領栖、洪田領栖、洋茂大)、欽()、聖)、大)、欽()、聖)、大)、安()、安()、安()、安()、安()、安()、安()、安()、安()、安(5,980			込
科研費	基盤研究(A)	気候・社会・生態系の 変動に対応した感染症 リスク評価モデルの構 築	福士謙介	渡部 徹 (山形大) 渡辺幸三 (愛媛大)	13,000			込
科研費	若手研究	自然水中における腸管 系ウイルスの不活化要 因の解析	端昭彦				1,560	込
科研費	基盤研究(B)	公共用水域の糞便汚染 源の可視化を実現する 宿主特異的ウイルス遺 伝子マーカー群の探索	原本英司(山梨大)	端 昭彦 北島正章 (北大)		9,490	4,160	込

都市資源管理研究室

			下線:センク	二重ト線: センター専任教員 下線:センター協力教員 点線:センター連携教員、 運営委員		受入額(千円)				
資金の種類	種目等	研究課題名	研究代表者 (所属)	研究分担者 (所属)	2016	2017	2018	間接 経費		
科研費	基盤研究(A)	サプライチェーンが産 み出す価値と環境・資 源ストレスの統合的ホ ットスポット分析	森□祐一	<u>中谷 隼</u> その他7名	10,500	9,000		抜		
科研費	基盤研究(B)	サプライチェーンが産 み出す価値と環境・資 源ストレスの統合的ホ ットスポット分析	中谷 隼	飯田晶子 その他7名			4,200	抜		
環境研究総合推進費		循環型社会政策の効果 評価と導入支援のため の資源利用・廃棄物処 理モデルの構築	大迫政浩 (国立環境 研究所)	<u>森□祐一</u> <u>中谷 隼</u> その他 11 名	3,150	3,150	3,150	込		
環境研究総合推進費	戦略的研究 S-16-1	全体の統括と消費と生産の関連性を強化した政策デザインによる温室効果ガス排出抑制と資源循環方策	平尾雅彦 (化学シス テム工学 専攻)	栗栖 聖 <u>中谷 隼</u> その他 2 名	34,556	34,530	34,556	込		
環境研究 総合推進費		先端的な再生技術の導入と動脈産業との融合に向けたプラスチック循環の評価基盤の構築	中谷 隼	森□祐 <u>一</u> その他8名			29,460	込		

都市水システム研究室

			二重下線: センター専任教員 下線:センター協力教員 点線:センター連携教員、 運営委員		受入額(千円)			
資金の種類	種目等	研究課題名	研究代表者 (所属)	研究分担者 (所属)	2016	2017	2018	間接 経費
科研費	若手研究(B)	ナノバブルの適用による薬品が不要な膜ろ過 浄水処理プロセスの開 発研究	橋本崇史			1,360	2,800	込
科研費	基盤(B)	ポスト MDGs に向け た新たな水へのアクセ ス指標の開発と水アク セス改善手法の提案	滝沢 智		2,100			込
科研費	基盤 (B)	SDGs 達成に向けた間 欠給水(IWS)都市に おける安全な飲料水確 保に関する研究	滝沢 智			6,240	5,720	込

			二重下線: センター専任教員 下線:センター協力教員 点線:センター連携教員、 運営委員 研究代表者 研究分担者		受	入額(千F	円)	
資金の種類	種目等	研究課題名	研究代表者 (所属)	研究分担者 (所属)	2016	2017	2018	間接 経費
文部科学省	世界展開力強 化事業	アジア都市環境保健学際コンソーシアムの形成	滝沢 智	渡邊知保 その他	27,586			抜
共同研究	メタウォータ 一(株)	膜表面および膜内部の ファウリング物質の新 規可視化手法を用いた 膜ファウリングの解析 と膜洗浄方法の評価	滝沢 智		3,500			込
科研費	基盤(B)	紫外線発光ダイオード による水中微生物の制 御	小熊久美子	春日郁朗	4,290			込
科研費	基盤(B)	紫外発光ダイオードを 利用した電源自立型水 処理システムの開発と 実証	小熊久美子	春日郁朗		8,580	4,680	込
科学技術振興機構	SICORP	小規模水道における持 続的水供給の実現に資 する革新的紫外線技術 の創出	小熊久美子	<u>浅見真理</u> (国立保健医 療科学院) 松下 拓 (北海道大学) その他 2名		5,200	4,810	込
厚生労働科研費		地表水を対象とした浄水処理の濁度管理技術 を補完する紫外線処理 の適用に関する研究	大垣眞一郎 (水道技術研究センター)	小熊久美子 その他 6名	950			抜
厚生労働 科研費		小規模水供給システム の安定性及び安全性確 保に関する統合的研究	浅見真理 (国立保健 医療科学 院)	<u>小熊久美子</u> その他 3名		980	980	抜
農林水産省	農林水産業・ 食品産業科学 技術研究推進 事業	昆虫嗅覚受容体を利用 した飲食料由来のカビ 臭の簡易検査システム の開発	神崎亮平	<u>小熊久美子</u> その他 7名	1,000	1,000	1,000	抜
環境省	環境研究推進費	水系感染微生物による 水環境汚染の把握と微 生物起源解析の活用に 関する研究	片山浩之	<u>小熊久美子</u> その他 10名	38,285	52,000	52,000	入 (全体 予算)
石川県 連携研究		深紫外発光ダイオード (DUV-LED)を用 いた流水式消毒装置の 開発	小熊久美子 渡邊真也 (日機装技 研(株))			1,034	2,266	抜
共同研究	日機装技研㈱	深紫外線 LED の水消 毒応用に関する研究	小熊久美子		2,000	2,000	2,000	込
共同研究	新日本空調(株)	UV-LED を用いた微生 物殺菌・ウイルス不活 化技術の開発	小熊久美子				300	込

		二重下線: センター専任教員 下線:センター協力教員 点線:センター連携教員、 運営委員		受	入額(千F	円)		
資金の種類	種目等	研究課題名	研究代表者 (所属)	研究分担者 (所属)	2016	2017	2018	間接 経費
共同研究	日機装㈱	深紫外光によるリポポ リサッカライド失活に 関する研究	小熊久美子				1,000	込
共同研究	(株)ケンスイ、 日機装技研(株)	深紫外線 LED の水消 毒応用に関する研究	小熊久美子				1,000	込

3-2. その他の共同研究(直接的な研究費を伴わないもの)

水環境制御研究室

教員名	相手方研究者(所属)	相手方国名	研究課題名	共同研究の概要	備考
古米弘明	Pham Khac Lieu (Department of Environmental Science, Hue University of Sciences)	ベトナム	Evaluation of water environment soundness in Hue, Vietnam	現場調査、研修プログラム	
古米弘明	吉田 丈人 (東京大学)		減災と生態系保全を考慮した土地利用再編検討	研究討議	地球研 Eco-DRR プロ ジェクト 本格研究 5年間 (2018年から)
古米弘明	電気学会公共施設技術 委員会		上下水道施設における設 備管理とアセットマネジ メント	アンケート調査 研究、報告書作 成	2015 年度から 3 年間
古米弘明	横浜市環境創造局		河川・下水道のシームレス モデルを用いたリアルタイ ム浸水予測手法の開発	現場調査、モデ ル解析	2015 年度から継続
古米弘明	Mooyoung HAN (ソウル国立大学)	韓国	Sustainable Water Treatment and Management	シンポジウム開催、研究交流	2018 年 1 月シンポ ジウム開催
古米弘明	武田 誠(中部大学)		下水道システムを考慮し た都市氾濫解析	春日井市現地訪問、研究交流	2018年3月訪問
古米弘明	伊藤一教(大成建設株 式会社 技術センター)		局所的降雨分布を考慮し た都市浸水解析	研究交流	修了生:永野さんの 就職先として
古米弘明	Charongpun Musikavong (ソンクラ王子大学)	91	Characterization of dissolved organic matter structure and treatment of trihalomethanes and haloacetonitriles in raw water and water supply.	交換留学生指導	交換留学学生の成果 (Juthamas Jaichuedee)
古米弘明	Lee, Changha (UNIST)	韓国	Sustainable Urban Environment	ワークショップ 開催、研究交流	2017 年 8 月ワーク ショップ開催

教員名	相手方研究者(所属)	相手方国名	研究課題名	共同研究の概要	備考
古米弘明	Ho Kyong Shon (シドニー工科大学: UTS)	オーストラリア	Appliction of membrane technology for water and wastewater treatment	教員交流	2016 年 4 月サバティカル、7 月セミナー開催,
古米弘明	茨城県企業局		新しい 浄水処理技術の持 続的な運転管理に向けて	研究討議	2016 年 11 月共同シンポ開催
古米弘明、 栗栖 太	Charongpun Musikavong (ソンクラ王子大学)	タイ	Classification of molecular formulas of dissolved organic matter in raw water, coagulated water, and chlorinated water by Orbitrap mass spectrometry	交換留学成果の 共著論文執筆	交換留学学生の成果 (Warangkana)
栗栖 太	Sandya Babel (タマサート大学)	タイ	Bio-electrochemical reactors using AMI-7001s and CMI-7000s membranes as separators for silver recovery and power generation	交換留学成果の 共著論文執筆	UEHAS 学生の成果 (Ho Dao)
栗栖 太	Sandya Babel (タマサート大学)	91	Characterization of Pb-multifunctional endophytic bacteria from roots of Pityrogramma calomelanos and its role in Pb accumulation by fast-growing trees	交換留学成果の 共著論文執筆	UEHAS 学生の成果 (Jiraporn)
栗栖 太	Tawan Limpiyakorn (チュラロンコン大学)	タイ	Incorporation of 13C-HCO3- by ammonia-oxidizing archaea and bacteria during ammonia oxidation of sludge from a municipal wastewater treatment plant	交換留学成果の 共著論文執筆	UEHAS 学生の成果 (Preeyaporn)
栗栖 太	磯部一夫 (農学生命科学研究科)		異化的硝酸還元アンモニ ア生成の安定同位体を用 いた測定	試料分析への協力	
栗栖 太	WIBOONLUK PUNGRASMI (チュラロンコン大学)	タイ	(同上)	交換留学成果の 共著論文執筆	交換留学学生の成果 (Pokchat)
栗栖 太	C Visuvanathan (アジア工科大学)	タイ	高分解能質量分析計を用いた下水再生水処理における有機物変化の解析	試料の分析と解 析	
片山浩之	内田諭(首都大学東京)		誘電英道を用いたウイル ス捕獲法の開発	試料提供および 分析補助	
片山浩之	Pu Jian(東洋大学)		Occurrence of viruses in coastal waters in Asian countries	試料分析	Asia-Pacific Network for Global Change Research

教員名	相手方研究者(所属)	相手方国名	研究課題名	共同研究の概要	備考
片山浩之	本多了(金沢大学)		養豚廃水由来の病原微生物の追跡手法の開発		日越大学学生の共同 指導
片山浩之	長谷部太(長崎大学・ハノイ拠点)	ベトナム	ハノイにおける下水処理 によるウイルス除去効果 の測定	分子生物学的実験	日越大学学生の共同 指導
春日郁朗	柴雅彦 (茨城県企業局)		高度浄水処理実験プラントにおける生物活性炭の 微生物解析	試料分析	
春日郁朗	小松一弘 (国立環境研究所)		霞ケ浦湖水における溶存 有機物の解析	試料採取、試料 分析	
春日郁朗	中野伸一(京都大学)		琵琶湖湖水における微生 物群集及び溶存有機物の 解析	試料採取、試料 分析	

環境微生物機能研究室

教員名	相手方研究者(所属)	相手方国名	研究課題名	共同研究の概要	備考
佐藤弘泰	Chart Chiemchaisri (カセサート大学)	タイ	水環境中の糞便性ステロ ール分析	試料分析への協力 と共著論文執筆	
佐藤弘泰	川本健(埼玉大学)		ココヤシ繊維を用いた排 水処理技術の開発	試料分析への協力 と共著論文執筆	

環境質リスク管理研究室

教員名	相手方研究者 (所属)	相手方国名	研究課題名	共同研究の概要	備考
飛野智宏	野口愛(茨城大学)		微細藻類を用いた廃糖蜜 蒸留廃水中の天然色素処 理機構の解明	科研費連携研究者	
飛野智宏	本多了(金沢大学)		活性汚泥中クオラムセンシ ングシグナル物質の検出	試料の分析と解 析	
飛野智宏	新田見匡 (横浜国立大学)		バルキング関連糸状性細 菌の増減に影響を与える 因子の探索	試料の分析と解 析	
飛野智宏	東京都下水道局		水質マトリクス情報を活用 した水処理プロセス制御の 高度化に関する共同研究	下水処理技術開 発に関する共同 研究協定	
中島典之	Pisut Painmanakul (チュラロンコン大学)	タイ	エアリフト型反応槽を用 いた汚染地下水の浄化機 構の解析		JICA Seed-Net 事業(Saret Bun)
中島典之	Chavalit Ratanatamskul (チュラロンコン大学)	タイ	下水処理システム中の微 生物群集解析	交換留学学生の 指導を通じた共 同研究	JICA Seed-Net 事業 (Hnin Ei Phyu)
中島典之	相馬明郎 (大阪市立大学) 渋木 尚 (みずほ情報総研) 桑江朝比呂 (港湾空港技術研究所)		生態系モデルを用いた東 京湾の炭素動態の定量的 評価	共著論文執筆、 学会発表	
中島典之	渡部春奈・中嶋信美 (国立環境研究所)		ニホンドロソコエビにお ける de novo トランスク リプトーム解析	共著論文執筆、 学会発表	

教員名	相手方研究者 (所属)	相手方国名	研究課題名	共同研究の概要	備考
中島典之	宮本信一(いであ)		環境 DNA の底質動態に 関する調査	試料採取、調整 の協力	競争的資金申請中

都市水システム研究室

教員名	相手方研究者 (所属)	相手方国名	研究課題名	共同研究の概要	備考
滝沢 智	Ecole National Superieure des Ingenieurs en Arts Chimiques et Technologiques (トゥールーズ国立工 科大学)	フランス	促進酸化による水中有機物の除去	試料の分析と解析	国際インターン シップ学生 (Johanna Bousseau)
滝沢 智	Ecole National Superieure des Ingenieurs en Arts Chimiques et Technologiques (トゥールーズ国立工 科大学)	フランス	促進酸化による水中有機物の除去	試料の分析と解析	国際インターン シップ学生 (Lucas Michels)
滝沢 智	タンマサート大学シリ ントーン 国際工学部	タイ	水中有機物の除去に係る 解析	試料の分析と解析	UEHAS 学生の成果 (Pahalagedara)
小熊久美子	Dalhousie University (ダルハウジー大学)	カナダ	紫外線発光ダイオードに よる水中微生物の制御	試料の分析と解析	JSPS サマープログ ラム(Kyle Rauch)

3-3. 学内連携研究機構への参画

1) 地球観測データ統融合連携研究機構 (EDITORIA)

「分野連携による地球環境情報統融合ワークベンチを活用した流域レジリエンスの向上(2011-2015年)」の研究成果を基礎に、2016年以降も地球観測データ統融合連携研究機構(EDITORIA)の枠組みの中で、データ統合・解析システム DIAS に格納されている降雨情報などを活用して、学内関連研究者と連携して、都市浸水リスク評価の研究を展開している。

参考 1

大学発グリーン・イノベーション創出事業 (平成 23 ~ 27 年度) 環境情報分野 「分野連携による地球環境情報統融合ワークベンチを活用した流域レジリエンスの向上」

実施期間 2011年-2015年

協力機関 東京大学 生産技術研究所 京都大学 農学研究科

代表研究者 東京大学 空間情報科学研究センター 教授 柴崎亮介

参考 2

データ統合・解析システム DIAS (Data Integration and Analysis System):地球規模 /各地域の観測で得られたデータを収集、永続的な蓄積、統合、解析するとともに、社会経済情報などとの融合を行い、地球規模の環境問題や大規模自然災害等の脅威に対する危機管

理に有益な情報へ変換し、国内外に提供することにより、我が国の総合的な安全保障や国民の安全・安心の実現に資することを目的として、2006 年度にスタートした。

2) 微生物科学イノベーション連携研究機構 (CRIIM)

2018年4月に、学内横断的な研究組織として設置された微生物科学イノベーション連携研究機構に、古米、栗栖(水環境セ)、片山、春日、飛野(都市工学)、佐藤(新領域)などのセンター教員や協力教員が参画している。また、古米は連携研究機構の事務局母体である生物工学研究センターの運営委員でもある。したがって、水環境制御研究センターは工学系の代表として積極的に本機構との連携を深める活動を展開する。

①異化的硝酸還元によるアンモニア生成(DNRA)に関する研究

磯部一夫助教(農・応用生命)との共同研究。

研究成果となる論文

CHUTIVISUT, P., ISOBE, K., POWTONGSOOK, S., PUNGRASMI, W. and KURISU, F. (2018) Distinct Microbial Community Performing Dissimilatory Nitrate Reduction to Ammonium (DNRA) in a High C/NO3- Reactor. Microbes and Environments (accepted).

②セミナーの共催

客員研究員 Barth Smets 教授と、CRIIM の関連研究者による講演を中心としたセミナーを、CRIIM と共催で実施する。

③環境微生物学分野における連携

CRIIM の以下のメンバーを中心に、水環境に関連する微生物の制御と活用に関する研究を構想する。

3-4. 客員研究員の受け入れ

研究交流を目的として、海外の研究者を客員研究員として招聘したり、受け入れたりしている。 Barth F. Smets 教授(デンマーク工科大学 環境工学)

期間: 2018年9月25日~2018年12月20日

(うち、11月1日~12月20日:日本学術振興会海外招へい研究者として受入)

3-5. 業績一覧

水環境制御研究室—原著論文

著者	題名	年	雑誌名	巻・号・ページ
Nittami, T., Shoji, T., Koshiba, Y., Noguchi, M., oshiki, M., Kuroda, M., Kindaichi, T., Fukuda, J. and Kurisu, F.	Investigation of prospective factors that control Kouleothrix (Type 1851) filamentous bacterial abundance and their correlation with sludge settleability in full-scale wastewater treatment plants.	2019	Process Safety and Environmental Protection	124, 137-142.
Yuthawong, V., Kasuga, I., Kurisu, F., and Furumai, H.	Molecular-level changes in dissolved organic matter compositions of Lake Inba water by KMnO4 oxidation assessed by Orbitrap mass spectrometry	2019	Journal of Water and Environment Technology	Vol.17, No.1, pp.27-39.
Uddin, M.M., Kurisu, F., Kasuga, I., Furumai, H., and Islam, S.M.A.	Potential of biological arsenite oxidation in sand filtration units at arsenic-iron removal plants (AIRPs) in Bangladesh	2019	Applied Water Science	Vol.9, No.48, pp.2-7.
Canh, V.D., Kasuga, I., Furumai, H., and Katayama, H.	Viability RT-qPCR combined with sodium deoxycholate pre-treatment for selective quantification of infectious viruses in drinking water samples	2019	Food and Environmental Virology	Vol.11, No.1, pp.40-51.
Torii, Shotaro Hashimoto, Takashi Do, An Thuan Furumai, Hiroaki Katayama, Hiroyuki	Impact of repeated pressurization on virus removal by reverse osmosis membranes for household water treatment	2019	Environmental Science: Water Research & Technology	5, 910-919
李 星愛、渋尾欣弘、古米弘明	鶴見川流域のポンプ排水区における下水道 管渠内水位と電気伝導度の変動特性	2019	土木学会論文集 G (環境)	Vol.75(2), pp.55-64
Niu, J., Kasuga, I., Kurisu, F. and Furumai, H.	Effects of backwashing on granular activated carbon with ammonium removal potential in a full-scale drinking water purification plant.	2018	Water	10, 1830.
Niu, J., Kasuga, I., Kurisu, F. and Furumai, H.	Growth competition between ammonia-oxidizing archaea and bacteria for ammonium and urea in a biological activated carbon filter used for drinking water treatment.	2018	Environmental Science: Water Research & Technology	5, 231-238.
Pornkulwat, P., Kurisu, F., Soonglerdsongpha, S., Banjongproo, P., Srithep, P. and Limpiyakorn, T.	Incorporation of 13C-HCO3- by ammonia-oxidizing archaea and bacteria during ammonia oxidation of sludge from a municipal wastewater treatment plant.	2018	Applied Microbiology and Biotechnology	102 (24), 10767-10777.
Canh, V.D., Osawa, H., Inoue, K., Kasuga, I., Takizawa, S., Furumai, H., and Katayama, H.	Ferrihydrite treatment to mitigate inhibition of RT-qPCR virus detection from large-volume environmental water samples	2018	Journal of Virological Methods	Vol.263, pp.60- 67.

著者	題名	年	雑誌名	巻・号・ページ
賀須井直規、中谷 隼、春日郁朗、古米弘明	数理最適化を用いた広域化水道システムの 長期運用・更新計画立案の手法開発	2018	土木学会論文集 (G)	_111- _122.
鈴木元彬、 Chomphunut Poopipatta、 春日郁朗、古米弘明	隅田川上流部から台場周辺海域における降 雨後の糞便汚染状況と指標微生物の相互関 係	2018	土木学会論文集 (G)	III_169-III_179
Hamaguchi, Kazuma Kuo, Daniel Liu, Miaomiao Sakamoto, Takeshi Yoshio, Masafumi	Nanostructured Virus Filtration Membranes Based on Two-Component Columnar Liquid Crystals	2018	ACS Macro Letters	8, 24-30
Phungsai Phanwatt, Futoshi Kurisu, Ikuro Kasuga, Hiroaki Furumai	Changes in dissolved organic matter composition and disinfection byproduct precursors in advanced drinking water Treatment Processes	2018	Environmental Science and Technology	Vol.52, No.6, pp.3392-3401
Poopipatta Chomphunnut, Misaki Nakajima, Ikuro Kasuga, Futoshi Kurisu, Hiroyuki Katayama, Hiroaki Furumai	Spatial-temporal distribution of PPCPs and microbial fecal indicators as sewage pollution markers in Tokyo coastal area after rainfall events	2018	Journal of Water and Environment Technology	Vol.16, No.3, pp.149-160
Ryuichi Kato, Tatsuya Asami, Etsuko Utagawa, Hiroaki Furumai, Hiroyuki Katayama	Pepper mild mottle virus as a process indicator at drinking water treatment plants employing coagulation-sedimentation, rapid sand filtration, ozonation, and biological activated carbon treatments in Japan	2018	Water Research	Vol.132, pp.61-70
Vu-Duc Canh, Ikuro Kasuga, Hiroaki Furumai, and Hiroyuki Katayama	Impact of various humic acids on EMA-RT-qPCR to selectively detect intact viruses in drinking water	2018	Journal of Water and Environment Technology	Vol.16, No.2, pp.83-93
CHUTIVISUT, P., ISOBE, K., POWTONGSOOK, S., PUNGRASMI, W. and KURISU, F.	Distinct Microbial Community Performing Dissimilatory Nitrate Reduction to Ammonium (DNRA) in a High C/NO3- Reactor	2018	Microbes and Environments	
Haramoto, E., Kitajima, M., Hata, A., Torrey, J.R., Masago, Y., Sano, D., Katayama, H.	A review on recent progress in the detection methods and prevalence of human enteric viruses in water	2018	Water Res.	135, 168–186
吉川美穂、張 銘、栗栖 太、豊田剛己	嫌気・好気連続処理におけるトルエン、ベンゼン及びジクロロメタンの好気分解微生物の安定同位体プローブ法による同定	2018	土木学会論文集 G(環境)	
李 星愛、古米弘明	管渠が集約化された排水区の流出過程に適 用する非線形貯留池モデルパラメータの補 正方法	2018	下水道協会誌	Vol. 55 No. 664, p80-86

著者	題名	年	雑誌名	巻・号・ページ	
李 星愛、古米弘明	管渠集約区域の排水能力を考慮した下水道 ネットワークモデルの実時間浸水解析への 適用	2018	下水道協会誌	Vol. 55 No. 670, p116-123	
渋尾欣弘、李 星愛、 佐貫 宏、吉村耕平、 田島芳満、佐藤愼司、 古米弘明	XRAIN と数値予測雨量の降水特性評価に 基づく都市浸水解析	数値予測雨量の降水特性評価に 2018 土木学会論文集		Vol.74 (4), I_1381-I_1386	
渋尾欣弘、李 星愛、 佐貫 宏、吉村耕平、 田島芳満、佐藤愼司、 古米弘明	河川・下水道の一体解析に基づく河川水位 の予測精度向上に関する研究	2018	土木学会論文集 B1(水工学)	Vol.74 (4), I_1357-I_1362	
Vitharuch Yuthawong, Ikuro Kasuga, Futoshi Kurisu, Hiroaki Furumai	Comparison of low molecular weight dissolved organic matter compositions between in Lake Inba and Kashima River by Orbitrap mass spectrometry	2017	Journal of Water and Environment Technology	Vol.15, No.1, pp.12-21	
Ho, N.A.D., Babel, S. and Kurisu, F.	Bio-electrochemical reactors using AMI-7001S and CMI-7000S membranes as separators for silver recovery and power generation	2017	Bioresour Technol	244 (1), 1006- 1014	
Kojima, K., Sano, S., Kurisu, F. Furumai, H.	Estimation of source contribution to nitrate loading in road runoff using stable isotope analysis	2017	Urban Water Journal	14 (4), 337-342	
Masahito Hayatsu, K.T., Ikuo Uchiyama, Atsushi Toyoda, Yong Wang, Yumi Shimomura, Takashi Okubo, Futoshi Kurisu, Yuhei Hirono, Kunihiko Nonaka, Hiroko Akiyama, Takehiko Ito, Hideto Takami	An acid-tolerant ammonia-oxidizing γ -proteobacterium from soil	2017	ISME	J 11, 1130-1141	
Nittami, T., Speirs, L.B.M., Yamada, T., Suzuki, I., Fukuda, J., Kurisu, F., Seviour, R.J.	Quantification of Chloroflexi Eikelboom morphotype 1851 for prediction and control of bulking events in municipal activated sludge plants in Japan	2017	Applied Microbiology and Biotechnology	101 (9), 3861- 3869	
Yoshikawa, M., Zhang, M., Toyota, K., Kurisu, F.	Bacterial degraders of coexisting dichloromethane, benzene and toluene, identified by stable-isotope probing	2017	Water, Air, and Soil Pollution	228, 418	
Marets, N., Kuo, D., Torrey, J.R., Sakamoto, T., Henmi, M., Katayama, H., Kato, T.	Highly Efficient Virus Rejection with Self-Organized Membranes Based on a Crosslinked Bicontinuous Cubic Liquid Crystal	2017	Adv. Healthc. Mater	doi:10.1002/ adhm	
Katayama, H. and Vinjé, J.	Norovirus and other Calicivirus. In: J.B. Rose and B. Jiménez-Cisneros, (eds)	2017			

著 者	題名	年	雑誌名	巻・号・ページ
Alberto Campisano, David Butler, Sarah Ward, Matthew J. Burns, Eran Friedler, Kathy DeBusk, Lloyd N. Fisher-Jeffes, Enedir Ghisi, Ataur Rahman, Hiroaki Furumai, Mooyoung Han	Urban rainwater harvesting systems	2017	Water Research	Volume 115, Pages 195-209
佐貫 宏、渋尾欣弘、李 星愛、吉村耕平、田島芳満、古米弘明、佐藤愼司	都市沿岸部を対象とした浸水ナウキャスト シミュレーション	2017	土木学会論文集 B2(海岸工学)	73 巻 2 号 I_499-I_504
渋尾欣弘、谷□健司、 佐貫 宏、吉村耕平、 李 星愛、田島芳満、 小池俊雄、古米弘明、 佐藤愼司	擬似温暖化台風出力による鶴見川流域の外水・内水氾濫解析と治水対策効果に関する研究	2017	土木学会論文集 B1(水工学)	73 巻 4 号 I_1381-I_1386
尾崎則篤、和田桂子、 村上道夫、中島典之、 古米弘明	公表調査データの統計解析による市街地ノンポイント汚濁負荷流出量の予測とその信頼性評価	2017	水環境学会誌	40 巻 3 号 p.115-124
Jatuwat Sangsanont, Dang The Dan, Tran Thi Viet Nga, Hiroyuki Katayama, Hiroaki Furumai	Detection of pepper mild mottle virus as an indicator for drinking water quality in Hanoi, Vietnam, in large volume of water after household treatment, Journal of Environmental Science and Health, Part A	2016	Toxic/ Hazardous Substances and Environmental Engineering	Vol.51, No.13, pp.1100-1106
Parinda Thayanukul. Futoshi Kurisu, Ikuro Kasuga, and Hiroaki Furumai	Characterization of biodegradable organic matter in reclaimed water using a bacterial growth fingerprint assay	2016	Water Science and Technology: Water Supply	Vol.16 (5), 1255-1265
Ikuro Kasuga, Futoshi Kurisu and Hiroaki Furumai	Identification of bacteria assimilating formaldehyde in biological activated carbon filter by means of DNA stable isotope probing and next- generation sequencing	2016	Water Science and Technology: Water Supply	Vol.16 (4), 915-921
Tatsuya Asami, Hiroyuki Katayama, Jason Robert Torrey, Chettiyappan Visvanathan, and Hiroaki Furumai	Evaluation of virus removal efficiency of coagulation-sedimentation and rapid sand filtration processes in a drinking water treatment plant in Bangkok, Thailand	2016	Water Research	Vol.101, 84-94
Phungsai Phanwatt, Futoshi Kurisu, Ikuro Kasuga and Hiroaki Furumai	Molecular characterization of low molecular weight dissolved organic matter in water reclamation processes using Orbitrap mass spectrometry	2016	Water Research	Vol.100, pp.526- 536
Shwetha Acharya, Futoshi Kurisu, Ikuro Kasuga, Hiroaki Furumai	Chlorine dose determines bacterial community structure of subsequent regrowth in reclaimed water	2016	Journal of Water and Environment Technology	Vol.14, No.1, pp.15-24

著者	題名	年	雑誌名	巻・号・ページ
Noguchi, M., Kurisu, F., Sekiguchi, Y., Kasuga, I. and Furumai, H.	Microbial community structure of methanogenic benzene-degrading cultures enriched from five different sediments	2016	The Journal of General and Applied Microbiology	62 (5), 266-271
Ito, T., Kato, T., Hasegawa, M., Katayama, H., Ishii, S., Okabe, S., Sano, D.	Evaluation of virus reduction efficiency in wastewater treatment unit processes as a credit value in the multiple-barrier system for wastewater reclamation and reuse	2016	J. Water Health	14, 879-889
Sano, D., Amarasiri, M., Hata, A., Watanabe, T., Katayama, H.	Risk management of viral infectious diseases in wastewater reclamation and reuse	2016	Review. Environ. Int	91, 220-229
Honda R, Watanabe T, Sawaittayotin V, Masago Y, Chulasak R, Tanong K, Chaminda GT, Wongsila K, Sienglum C, Sunthonwatthanaphong V, Poonnotok A, Chiemchaisri W, Chiemchaisri C, Furumai H, Yamamoto K.	Impacts of urbanization on the prevalence of antibiotic-resistant Escherichia coli in the Chaophraya River and its tributaries	2016	Water Sci Technol	73 (2):362-74
WeonJae Kim, Hiroaki Furumai	Characterization of Washoff Behavior of In-Sewer Deposits in Combined Sewer Systems	2016	Water Environment Research	Volume 88, Number 6, p557-565
賀須井直規、春日郁朗、 栗栖 太、片山浩之、 古米弘明	下水管内堆積物の動態モデル解析を用いた 清掃水投入による雨天時越流負荷削減量の 評価	2016	土木学会論文集 (G)	III_153-III_160
永野雄一、Nguyen Bac Giang、Pham Khac Lieu、古米弘明	フエ旧市街地中央運河における糞便汚染状 況調査と汚染水塊の挙動解析	2016	土木学会論文集 (G)	72 (7), III_169-III_177
大塚佳臣、中谷 隼、 牧 誠也、荒巻俊也、 古米弘明	将来の水利用シナリオの検討を目的とした プラーヌンクスツェレにおける参加者の選 好変容の評価	2016	土木学会論文集 (G)	72 (7)
佐貫 宏、渋尾欣弘、李 星愛、吉村耕平、田島芳満、古米弘明、佐藤愼司	様々な氾濫因子を考慮した都市沿岸部の氾 濫予測解析	2016	土木学会論文集 B2(海岸工学)	Vol. 72, No. 2, I_517-I_522

水環境制御研究室―総説・書籍等

著者	題名	年	書誌名	巻・号・ページ
渋尾欣弘、古米弘明	IoT を活用した河川・下水道のシームレスモデルによるリアルタイム浸水予測手法の開発	2019	下水道協会誌 Vol. 56 (1) 特集 "下水道分野 における情報技術の活 用"	
Haramoto, E., Kitajima, M., Hata, A., Torrey, J.R., Masago, Y., Sano, D., Katayama, H.,	A review on recent progress in the detection methods and prevalence of human enteric viruses in water.	2018	Water Res.	135, 168–186.

渋尾欣弘、、古米弘明	都市浸水リスク予測・管理制御に向 けた研究開発	2018	平成 30 年度版水道年 鑑	
Katayama, H. and Vinjé, J.	Norovirus and other Calicivirus.	2017	In: J.B. Rose and B. Jiménez-Cisneros, (eds) Global Water Pathogens Project. http://www. waterpathogens.org (J.S. Meschke, and R. Girones (eds) Part 3 Viruses)	http://www. waterpathogens. org/book/ adenoviruses Michigan State University, E. Lansing, MI, UNESCO.
Sano, D., Amarasiri, M., Hata, A., Watanabe, T., Katayama, H.,	Risk management of viral infectious diseases in wastewater reclamation and reuse: Review.	2016	Environ. Int.	91, 220–229. doi:10.1016/ j.envint. 2016.03.001
片山浩之	水環境とウイルス	2016	ウイルス	66, 163-170. doi:10.2222/ jsv.66.163
片山浩之	都市水循環系における病原微生物の 存在状況と処理における除去不活化 特性	2016	月刊下水道	Vol 39 No. 7, 7-10.
春日郁朗、栗栖 太	フーリエ変換質量分析計による未知 スクリーニング分析を活用した水処 理プロセスの評価	2016	水環境学会誌 特集 "最新の質量分析技術 による多物質分析"	
春日郁朗、栗栖 太	流域レベルでの溶存有機物(DOM) 管理に向けた新たな展開	2016	環境システム計測学会 学会誌 EiCA 特集 "新た な測定指標やセンサが 拓く監視制御システム"	

水環境制御研究室一国際会議

著者	題名	年	会議名
Nguyen, T.N., Liu, M., Kasuga, I., and Katayama, H.	Occurrence of antibiotic resistance genes as emerging contaminants in watersheds of Tama River and Lake Kasumigaura in Japan,	2019	4th International Forum on Sustainable Future in Asia
Kasuga, I.	Safely managed water services beyond SDG 6.1	2019	4th International Forum on Sustainable Future in Asia
NIU, J., KASUGA, I., KURISU, F. and FURUMAI, H. (2018)	Effect of Backwashing on Ammonia Removal Performance of Granular Activated Carbon Used for Drinking Water Purification	2018	IWA World Water Congress
PHUNGSAI, P., KURISU, F., KASUGA, I. and FURUMAI, H.	Molecular-level Assessment of Dissolved Organic Matter Removal by MIEX® in Drinking Water Treatment	2018	IWA World Water Congress
YUTHAWONG, V., KASUGA, I., KURISU, F. and FURUMAI, H.	Molecular Characterization of Low Molecular Weight Dissolved Organic Matter Contributing to CODMn in Japanese Lakes	2018	IWA World Water Congress

著者	題名	年	会議名
Ishi, Y., Kurisu, F., Kasuga, I., and Furumai, H.	Non-target screening of E. coli's growth substrates in river waters using high resolution mass spectrometry	2018	ISME17
Midori Yasui, T. Yonetani, L. Ikner, Hiroaki Furumai, Hiroyuki Katayama	Removal efficiency of indigenous F-specific RNA phages in inline coagulation and micro-filtration system affected by different coagulation characteristics	2018	ISFEV 2018, Arizona
Torii, S1*, Hashimoto, T1, Do, T, A2, Furumai, H1, and Katayama, H1	Impact of intermittent operation on virus removal by residential RO membrane	2018	ISFEV 2018, Arizona
Vu Duc Canh1, Hiroyuki Katayama1 and Hiroaki Furumai1	Effectiveness of sodium deoxycholate pre-treatment to improve viability RT-qPCR for discrimination of inactivated viruses in drinking water	2018	ISFEV 2018, Arizona
Akihiko Hata, Shotaro Torii, Hiro Katayama	Development of continuous flow incubation system to detect single infective coliphage from a large volume water sample	2018	ISFEV 2018, Arizona
J.R. Torrey*, N. Kadokawa**, Y. Matsui***, C.P. Gerba****, H. Katayama****	Using an indigenous plant virus to evaluate virus removal efficiency of a pilot scale ceramic membrane with coagulation.	2018	IWA World Water Congress
Takashi Hijikata Hiroyuki Katayama Hiroaki Furumai	Occurrence of Enteric Viruses And Microbial Indicators in Tokyo Coastal Area After a CSO Event	2018	IWA World Water Congress
NGUYEN, Thao Hoang Phuong, Khai NGUYEN**, Hiroaki FURUMAI***, Hiroyuki KATAYAMA***	Different Fates of FRNA Phage Genotypes in a Sequencing Batch Reactor Treating Domestic Wastewater in a Satellite City of Hanoi	2018	Water and Environment Technology Conference
Vitharuch Yuthawong, Ikuro Kasuga, Futoshi Kurisu, Hiroaki Furumai	Molecular-level changes in dissolved organic matter compositions of Lake Inba water by KMnO4 oxidation assessed by Orbitrap mass spectrometry	2018	Water and Environment Technology Conference
Chomphunut Poopipattana, Misaki Nakajima, Suzuki Motoaki, Ikuro Kasuga, Hiroaki Furumai	Effects of rainfall characteristics and tidal changes on behavior of CSO-derived sewage markers in Odaiba coastal area, Tokyo	2018	Water and Environment Technology Conference

著者	題名	年	会議名
Ikuro Kasuga, Miyu Suzuki, Futoshi Kurisu, Hiroaki Furumai	Evaluation of biodegradable organic matter causing regrowth in drinking water	2018	The 3 rd International Forum on Asian Water Environment Technology
Vitharuch Yuthawong, Iuro Kasuga, Futoshi Kurisu, Hiroaki Furumai	Application of high resolution mass spectrometry to characterize dissolved organic matter in a eutrophic lake	2018	The 3 rd International Forum on Asian Water Environment Technology
Poopipattana Chomphunut, Misaki Nakajima, Hiroaki Furumai	Spatial-temporal distribution of PPCPs as sewage markers and their relationship with microbial fecal indicators following a rainfall event in the Tokyo coastal area	2018	The 3 rd International Forum on Asian Water Environment Technology
Miaomiao Liu, Yu Zhang, and Min Yang	Tetracycline resistance genes in an oxytetracycline production wastewater treatment system	2018	The 3 rd International Forum on Asian Water Environment Technology
Hiroaki Furumai	Strategy of SustainableUrban Water UseAdapted to Climate Change	2018	1st Int. Conf. on CCA-DRRM@Isabela, Philippines
Hiroaki Furumai	Future prospects of urban water infrastructure in Japan	2018	IWA World Water Congress (workshop)
Hiroaki Furumai	Overview of water supply and sewerage systems in Japan	2018	IWA World Water Congress (workshop)
Hiroaki Furumai	Challenge for shifting to the integrated water resource management in Japan	2018	6th Busan Global Water Forum
Hiroaki Furumai	Challenges towards Real-time Forecasting and Control of Urban Flood	2018	6th Busan Global Water Forum
Chomphunut Poopipattana, Misaki Nakajima and Hiroaki Furumai	Relationship of Temporal Behavior among Microbial and Chemical markers after rainfall events in Tokyo coastal area	2018	IWA World Water Congress
Miyu Suzuki, Ikuro Kasuga, Futoshi Kurisu, Hiroaki Furumai	Retrieval of Biodegradable Organic Matter Removed by Biological Activated Carbon Filtration Using Orbitrap Mass Spectrometry	2017	AWWA WQTC2017
Phanwatt Phungsai, Futoshi Kurisu, Ikuro Kasuga, Hiroaki Furumai	Fate Evaluation of Putative Disinfection By-products Precursors in Ozonation and Biological Activated Carbon Filtration processes by Orbitrap Mass Spectrometry	2017	AWWA WQTC2017
Misaki Nakajima, Chomphunut Poopipattana, SungAe Lee, Hiroaki Furumai	Spatiotemporal distribution of CSO pollutants in a coastal areas and the fate analysis of <i>E. coli</i> by a 3D water quality model	2017	14th IWA/IAHA International Conference on Urban Drainage 2017
Naoki Kasui, Jun Nakatani, Seiya Maki, Hiroaki Furumai	Scenario design method using multi-objective optimization for consensus building on urban water use systems	2017	4th Water Research Conference

著者	題名	年	会議名
Phanwatt Phungsai, Futoshi Kurisu, Ikuro Kasuga, Hiroaki Furumai	Profiling Dissolved Organic Matter at Molecular Level in Environmental and Urban Water Resources by Orbitrap Mass Spectrometry	2017	7th IWA-ASPIRE Conference& Water Malaysia Exhibition 2017
Poopipatta Chomphunnut, Misaki Nakajima Hiroaki Furumai	Spatial-temporal distribution of PPCPs and microbial fecal indicators as sewage pollution markers in Tokyo coastal area after rainfall events	2017	Water and Environment Technology Conference 2017
Yoshihiro Ishii, Futoshi Kurisu, Ikuro Kasuga, Hiroaki Furumai	Screening Growth Substrates of E.coli by Monitoring Changes in Dissolved Organic Matter Composition in Sterilized River Water	2017	Water and Environment Technology Conference 2017
Vu Duc Canh, Ikuro Kasuga, Hiroaki Furumai, Hiroyuki Katayama	Impact of various humic acids on EMA-RT-qPCR for distinguishing between intact and non-infectious viruses in drinking water	2017	Water and Environment Technology Conference 2017
Daniel Ekhlas, Futoshi Kurisu, Ikuro Kasuga, Hiroaki Furumai	Microbial community changes associated with combined sewer overflow in an urban river in Tokyo	2017	Water and Environment Technology Conference 2017
Phanwatt Phungsai, Futoshi Kurisu, Ikuro Kasuga, Hiroaki Furumai	Application of sequential solid phase extraction to dissolved organic matter for unknown screening analysis with an Orbitrap mass spectrometer	2017	Water and Environment Technology Conference 2017
Ikuro Kasuga, Vitharuch Yuthawong, Futoshi Kurisu, and Hiroaki Furumai	Molecular source tracking of dissolved organic matter in a hypereutrophic lake by Orbitrap mass spectrometry	2017	ASLO2017 Aquatic Sciences Meeting
Vitharuch Yuthawong, Ikuro Kasuga, Futoshi Kurisu, and Hiroaki Furumai	Application of Orbitrap mass spectrometry to reveal low molecular weight dissolved organic matter responsible for COD in a eutrophic lake	2017	ASLO2017 Aquatic Sciences Meeting
Lee, SungAe,Y. SHIBUO, H. SANUKI, Y. TAJIMA, S. SATO, H. FURUMAI	Long term monitoring of water level in sewer networks for validation of urban flood model	2017	14th IWA/IAHA International Conference on Urban Drainage 2017
Shwetha Acharya, Futoshi Kurisu, Ikuro Kasuga, and Hiroaki Furumai	Chlorine dose alters community of regrowing bacteria in reclaimed water	2016	MEWE and Biofilms IWA Specialist Conference

著者	題名	年	会議名
Ikuro Kasuga, Hitomi Nakamura, Futoshi Kurisu, and Hiroaki Furumai	Characterization of residual microbial growth potential in drinking water treated by ozonation and biological activated carbon	2016	MEWE and Biofilms IWA Specialist Conference
Phanwat Phungsai, Shwetha Acharya, Futoshi Kurisu, Ikuro Kasuga, and Hiroaki Furumai	Tracking dissolved organic matter removed after microbial regrowth in chlorinated reclaimed water by using Orbitrap mass spectrometry	2016	MEWE and Biofilms IWA Specialist Conference
Miyu Suzuki, Ikuro Kasuga, Futoshi Kurisu, and Hiroaki Furumai	Depth profiles of microbial community in a full-scale biological activated carbon filter for drinking water treatment	2016	MEWE and Biofilms IWA Specialist Conference
Yoshihiro Ishii, Futoshi Kurisu, Ikuro Kasuga, and Hiroaki Furumai	Growth of <i>Escherichia coli</i> and change in dissolved organic carbons in urban river waters	2016	MEWE and Biofilms IWA Specialist Conference
Futoshi Kurisu, Yuichiro Misumi, Ikuro Kasuga, and Hiroaki Furumai	Microbial indicators to estimate contribution of in-sewer deposit in combined sewer overflow	2016	MEWE and Biofilms IWA Specialist Conference
Phanwat Phungsai, Futoshi Kurisu, Ikuro Kasuga, and Hiroaki Furumai	Reproducibility of Orbitrap mass spectrometry in unknown screening analysis of dissolved organic matter in environmental water samples	2016	Water and Environment Technology Conference
Yuthawong Vitharuch, Ikuro Kasuga, Futoshi Kurisu, and Hiroaki Furumai	Comparison of low molecular weight dissolved organic matter compositions between in Lake Inba and Kashima River by Orbitrap mass spectrometry	2016	Water and Environment Technology Conference

水環境制御研究室一国内会議

著者名	題名	年	会議名
Xie, L., Kurisu, F., Kasuga, I. and Furumai, H.	Development of A Simultaneous Quantification Method with HPLC Followed by High Resolution Mass Spectrometry for Youchousa-koumoku to be Surveyed by The Ministry of The Environment,	2019	第53回日本水環境学会年会
高橋 真、久保田健吾、 佐藤幹子、石井淑大、栗栖 太、 李 玉友	下水処理における微生物群集構造と溶存有機物 組成の関係性の解明	2019	第53回日本水環境学会年会

著者名	題名	年	会議名
石井淑大、栗栖 太、春日郁朗、 古米弘明	精密質量分析計を用いた一斉スクリーニング分 析による河川水中要調査項目の存在状況評価	2019	第 53 回日本水環境学 会年会
大谷 尭、岩野 寛、石井淑大、栗栖 太、李 玉友、久保田健吾	下水一次処理水に含まれるウキクサ亜科植物の 生長に影響を与える物質の探索	2019	第 53 回日本水環境学 会年会
中嶌泰介、春日郁朗、栗栖 太、古米弘明	Limnohabitans 属の代謝が湖沼溶存有機物の分子組成に及ぼす影響の評価	2019	第 53 回日本水環境学 会年会
畠山 準、松原直也、栗栖 太、 春日郁朗、古米弘明	荒川支流入間川における未規制有機汚染物質の 精密質量計を用いたノンターゲット分析	2019	第 53 回日本水環境学 会年会
Phan, H., Kurisu, F., Kiba, K. and Furumai, H.	Correlation between benzene degrading activity and abundance of putative benzene-degrading microorganisms in methanogenic enrichment culture	2019	第53回日本水環境学会年会
五味茉尋、古米弘明、高田秀重	フェノール系 PPCPs の直接誘導化による分析法 の開発	2019	第 53 回日本水環境学 会年会
田畑誠一郎、山ノ井俊、 大中洋一、Vu Duc Canh、 古米弘明、片山浩之	各種活性炭と比較した多孔質炭素材料トリポーラス TM の細孔構造とウイルス除去特性	2019	第53回日本水環境学会年会
鳥居将太郎、端 昭彦、 片山浩之、古米弘明	ウイルスの塩素消毒効率に及ぼす種内耐性分布幅の影響、第53回日本水環境学会年会、p.253.(3/7-9, 甲府)【□頭】	2019	第53回日本水環境学会年会
Ifitita Rahmatika, Ikuro Kasuga, Futoshi Kurisu and Hiroaki Furumai	Influence of water stagnation on microbial regrowth at different faucets in a building plumbing	2019	第53回日本水環境学会年会
Jantarakasem Chotiwat, Ikuro Kasuga, Futoshi Kurisu and Hiroaki Furumai	Determination of volumetric ammonium removal rates of biological activated carbon for drinking water treatment, 第53回日本水環境学会年会, p.298. (3/7-9, 甲府)【口頭】	2019	第53回日本水環境学会年会
Miaomiao Liu and Ikuro Kasuga	Fates of intra- and extra-cellular antibiotic resistance genes during wastewater treatment and water reclamation	2019	第53回日本水環境学会年会
関瑛理子、古米弘明、片山浩之	雨天時越流水発生後の都市水域における糞便指 標細菌とウイルス類の消長の実測	2019	第 53 回日本水環境学 会年会
Shotaro Torii, Akihiko Hata, Hiroyuki Katayama	Presence of chlorine-resistant virus strain leads to insufficient chlorination in drinking water treatment plant	2018	第 66 回日本ウイルス 学会学術集会
鈴木元彬、Chomphunnut Poopipatta、春日郁朗、 古米弘明	隅田川上流部から台場周辺海域における降雨後 の糞便汚染状況と指標微生物の相互関係	2018	第 55 回環境工学研究 フォーラム
賀須井直規、中谷 隼、 春日郁朗、古米弘明	数理最適化を用いた広域化水道システムの長期 運用・更新計画立案の手法開発	2018	第 55 回環境工学研究 フォーラム
栗栖 太、Phanwatt Phungsai、 Shwetha Acharya、春日郁朗、 古米弘明	塩素消毒した下水再生水中で再増殖する微生物 と消費される有機物との関係	2018	第 21 回日本水環境学 会シンポジウム
土方貴史、端 昭彦、 井上健太郎、片山浩之、 古米弘明	ウイルス感染力価指標としての F 特異 RNA 大腸菌ファージ GIII の可能性	2018	第 21 回日本水環境学 会シンポジウム
鳥居将太郎、橋本崇史、 Do Thuan An、古米弘明、 片山浩之	繰り返し圧力が家庭用 RO 膜の完全性およびウイルス除去性能に及ぼす影響	2018	膜シンポジウム 2018, 神戸, 2018 年 11 月 13日-14日

著者名	題名	年	会議名
中嶌泰介、春日郁朗、栗栖 太、古米弘明	長期生分解実験における湖水の溶存有機物組成 と細菌群集構造の変化	2018	第 32 回日本微生物生 態学会大会
森田健二、大浦 昇、永山幸江、古米弘明	「泳げる海、お台場」の実現を目指して~官民連携による都市臨海部での環境教育の実践と体験の機会創出	2018	日本沿岸域学会研究討論会
李 星愛、渋尾欣弘、古米弘明	降雨に対する下水管内水位と電気伝導度の変動 特性と貯留幹線への越流発生との関係	2018	第 55 回下水道研究発表会講演集
渋尾欣弘、佐貫 宏、李 星愛、 古米弘明、吉村耕平、田島芳満、 佐藤愼司	レーダ・数値予測雨量を用いた外水・内水氾濫 モデルによる都市浸水予測手法の検討	2018	第 55 回下水道研究発表会講演集
濱田真樹、田所秀之、古米弘明	下水道電気設備におけるアセットマネジメント の動向・課題と提言	2018	第 55 回下水道研究発表会講演集
中嶌泰介、春日郁朗、栗栖 太、古米弘明	全国の指定湖沼を対象とした溶存有機物分子組成と細菌群集構造の関連性評価	2018	第52回日本水環境学会年会
鈴木美有、春日郁朗、栗栖 太、 古米弘明	微生物再増殖に関わる生分解性有機物の分子組 成の推定と高度浄水処理における動態評価	2018	第 52 回日本水環境学会年会
石井淑大、栗栖 太、春日郁朗、 古米弘明	大腸菌が利用可能な河川水中溶存有機物の四重 極 -Orbitrap 質量分析計による構造推定	2018	第 52 回日本水環境学会年会
木場幸一郎、栗栖 太、春日郁朗、古米弘明	メタン生成条件下のベンゼン分解における初発 代謝反応への UbiD カルボキシラーゼ遺伝子の 関与	2018	第52回日本水環境学会年会
鳥井将太郎、橋本崇史、 古米弘明、片山浩之	間欠運転による家庭用 RO 膜のウイルス除去性能の低下	2018	第 52 回日本水環境学 会年会
井上健太郎、片山浩之、 古米弘明	新規ウイルス汚染指標 PMMoV の沿岸海域環境における残存性について	2018	第 52 回日本水環境学会年会
Vitharuch Yuthawong, Ikuro Kasuga, Futoshi Kurisu, Hiroaki Furumai	Insights into the Molecular-Level Composition of CODMn in Lake Inba Assessed by Orbitrap Mass Spectrometry	2018	第52回日本水環境学会年会
安井 碧、片山浩之、古米弘明	野生の F 特異 RNA ファージの凝集性および下水再生処理における除去特性の評価	2018	第 52 回日本水環境学 会年会
鈴木元彬、Chomphunut Poopipattana、古米弘明、 春日郁朗	隅田川上流部から台場周辺海域における降雨後 の糞便汚染指標の消長とその相互関係	2018	第 52 回日本水環境学会年会
古米弘明、山崎 大、平井和行、中島満浩、渋尾欣弘	都市浸水リスク予測・管理制御に向けた研究開 発	2018	第1回データ利活用研 究コミュニティワーク ショップ
北山千鶴、李 星愛、萩野裕基、 森田健二、古米弘明	お台場海浜公園における海水浴予報システムの 試行運用	2018	第 55 回環境工学研究 フォーラム
濱田真樹、田所秀之、古米弘明	水道電気設備におけるアセットマネジメントの 動向・課題と提言	2018	平成 30 年度水道研究 発表会
Vitharuch Yuthawong, Ikuro Kasuga, Futoshi Kurisu, Hiroaki Furumai	Application of high resolution mass spectrometry to evaluate seasonal variation of organic matter responsible for CODMn in Lake Inba	2017	The 51 st Annual Conference of JSWE
Phungsai Phanwatt, Futoshi Kurisu, Ikuro Kasuga, Michiko Aoki, Fumiyasu Yokoyama, Hiroaki Furumai		2017	The 51 st Annual Conference of JSWE

著者名	題名	年	会議名
Vu Duc Canh, Hiroaki Furumai, Hiroyuki Katayama	Applicability of EMA-qPCR method to detect damaged virus in drinking water under presence of organic compounds	2017	The 51 st Annual Conference of JSWE
加藤隆一、片山浩之、古米弘明	実浄水場における凝集沈殿・急速砂ろ過および 高度処理によるウイルス除去効率評価	2017	第 51 回日本水環境学 会年会
中島美咲、李 星愛、 Chomphunut Poopipattana、 古米弘明	台場周辺海域における降雨後高密度採水調査に 基づく大腸菌の時空間分布の特性評価	2017	第51回日本水環境学会年会
小林 聖、片山浩之、古米弘明	下水処理場における感染価のある遺伝型別F特 異大腸菌 RNA ファージの挙動調査	2017	第 51 回日本水環境学 会年会
石井淑大、栗栖 太、春日郁朗、 古米弘明	都市河川水中における大腸菌と他細菌による増 殖基質の競合	2017	第51回日本水環境学会年会
三角恭平、春日郁朗、栗栖 太、古米弘明	湖沼における微生物ループを構成する細菌群の 特定と増殖特性を考慮した炭素フローの評価	2017	第 51 回日本水環境学会年会
中嶌泰介、春日郁朗、栗栖 太、古米弘明	琵琶湖湖水から分離された細菌に由来する有機 物と湖水溶存有機物との関連	2017	第51回日本水環境学会年会
賀須井直規、中谷 隼、 春日郁朗、古米弘明	アセットマネジメントと組み合わせた水道広域 化計画の数理計画法による立案手法の検討	2017	第 54 回環境工学研究 フォーラム
木場幸一郎、栗栖 太、 春日郁朗、古米弘明	メタン生成条件下のベンゼン微生物分解系における UbiD カルボキシラーゼ遺伝子の多様性評価	2017	第 54 回日本水処理生物学会
春日郁朗、Phanwatt Phungsai、栗栖 太、古米弘明	Orbitrap 質量分析計を用いた未知消毒副生成物 前駆物質の探索と浄水処理特性の評価	2017	平成 29 年度水道研究 発表会
鈴木美有、春日郁朗、栗栖 太、 古米弘明	Orbitrap 質量分析計を用いた生物活性炭が除去 する生分解性有機物の分子組成の推定	2017	平成 29 年度水道研究 発表会
春日郁朗、栗栖 太	溶存有機物分子組成の高分解能・精密質量分析 による網羅的評価 -Chemical diversity と Microbial diversity との接点	2017	第 20 回日本水環境学 会シンポジウム
鳥居将太郎、Do Thuan An、 橋本崇史、古米弘明、片山浩之	ハノイ市において経年使用された家庭用 RO 膜のウイルス除去率評価	2017	第 20 回日本水環境学 会シンポジウム
中嶌泰介、春日郁朗、栗栖 太、古米弘明	湖沼微生物ループにおける Limnohabitans 近 縁細菌に由来する代謝産物の網羅的解析	2017	第 20 回日本水環境学 会シンポジウム
石井淑大、栗栖 太、春日郁朗、 古米弘明	都市河川水中における大腸菌の増殖と Orbitrap 質量分析計による増殖基質の評価	2017	第 20 回日本水環境学 会シンポジウム
鈴木美有、春日郁朗、栗栖 太、 古米弘明	Orbitrap 質量分析計を活用した水道水中の未知生 分解性有機物の分子組成の解明	2017	環境微生物系学会合同 大会 2017
中嶌泰介、春日郁朗、栗栖 太、古米弘明	琵琶湖溶存有機物に寄与する細菌由来の代謝産 物成分の Orbitrap 質量分析計を用いた探索	2017	環境微生物系学会合同 大会 2017
渋尾欣弘、佐貫 宏、吉村耕平、李 星愛、田島芳満、古米弘明、 佐藤愼司	XRAIN,高解像度降水ナウキャスト,降水短時間予報を活用した都市流域浸水解析	2017	水文・水資源学会研究 発表会要旨集
李 星愛、渋尾欣弘、佐貫 宏、 古米弘明	下水道施設内観測水位データと XRAIN を用いた 鶴見川流域における内水氾濫解析	2017	第 54 回下水道研究発表会講演集
賀須井直規、春日郁朗、 栗栖 太、片山浩之、古米弘明	下水管内堆積物の動態モデル解析を用いた清掃 水投入による雨天時越流負荷削減量の評価	2016	第 53 回土木学会環境 工学研究フォーラム
藤原直也、栗栖 太、春日郁朗、古米弘明	嫌気ベンゼン分解集積培養系を用いた実ベンゼ ン汚染土の浄化に対するクエン酸添加効果	2016	第 53 回土木学会環境 工学研究フォーラム
鈴木美有、春日郁朗、栗栖 太、 古米弘明	生物活性炭ろ過層深度別ろ過水中の微生物群集 構造の解析	2016	平成 28 年度水道研究 発表会
三角恭平、春日郁朗、栗栖 太、古米弘明	印旛沼の微生物ループにおける Limnohabitans 属の生態学的役割	2016	微生物生態学会第 31 回大会

著者名	題名	年	会議名
鈴木美有、春日郁朗、栗栖 太、 古米弘明	浄水処理における生物活性炭ろ過水中の微生物 群集構造の深度方向変化	2016	微生物生態学会第 31 回大会
春日郁朗、三角恭平、栗栖 太、古米弘明	富栄養化が進行した印旛沼の微生物ループを構成する細菌群の多様性評価	2016	水圏微生物研究フォー ラム 2016

環境微生物機能研究室一原著論文

著者	題名	年	雑誌名	巻・号・ページ
Sato, N., Saito, T., Sato, H., Tanaka, N., Kawamoto, K.	Coconut-Fibre Biofilm Wastewater Treatment System in Sri Lanka: Microcosm Experiments for Evaluating Wastewater Treatment Efficiencies and Oxygen Consumption.	2017	Int. J. Environ. Sci. Develop	8 (10), 691-695
Sato, N., Dharmarathne, W.N.K., Saito, T., Sato, H., Tanaka, N., Kawamoto, K.	Microcosm experiments on a coconut-fibre biofilm treatment system to evaluatewaste water treatment efficiencies.	2017	International Journal of GEOMATE	12 (33), 160-166.
Satoh, H.	Challenges of restoring and rehabilitating sewer systems damaged by the great east japan earthquake and tsunami.	2017	Journal of JSCE	5 (1), 279-297.
NGUYEN LINH DAN AND TAKASHI MINO	Student Diversity Augments Studying Sustainability in Higher Education	2016	Journal of Education for Sustainable Development	Vol 10 (1): 1-16
Supattra Srijew, Wilai Chiemchaisri, Chart Chiemchaisri and Hiroyasu Satoh	Source identification of fecal contamination in the canals in Bangkok using fecal sterol compounds	2016	Journal of Water, Sanitation and Hygiene for Development	6 (1), 13-22
SMS Huda, H Satoh, T Mino	Anaerobic Degradation of Polyhydroxyalkanoate Accumulated in Activated Sludge in the Absence of Anaerobic Digested Sludge	2016	Journal of Water and Environment Technology	14 (4), 236-246
Satoh, H., Sakamoto, T., Kuroki, Y., Kudo, Y., Mino, T.	Application of the Alkaline-Digestion- HPLC Method to the Rapid Determination of Polyhydroxyalkanoate in Activated Sludge	2016	Journal of Water and Environment Technology	14 (5), 411-421

環境微生物機能研究室一総説・書籍等

著者	題 名	年	書誌名	巻・号・ページ
佐藤弘泰	下水処理を担う複合微生物系「活性 汚泥」のメタ 16S 解析	2016	NGS アプリケーション 今すぐ始める!メ タゲノム解析実験プロトコール	115-123

環境微生物機能研究室一国際会議

著者	題名	年	会議名
	Bacterial Groups That Tend to Leak from Activated Sludge Flocs.	2016	MEWE and Biofilms IWA Specialist Conference in Copenhagen

環境微生物機能研究室一国内会議

著者名	題名	年	会議名
Sotelo, T.J., Satoh, H., Mino, T.	Effect of lipid type on the degradation rate of the intermittent contact oxidation process	2018	第52回日本水環境学会年会講演集
Sotelo, T.J., Satoh, H., Mino, T.	Lipid degradation with intermittent surface aeration in a simulated sewer system	2018	Water and Environment Technology Conference 2018
佐藤弘泰	未普及解消のための管路内下水浄化の活用の提 案	2018	第 55 回下水道研究発表会講演集
Sotelo, T.J., Satoh, H., Mino, T.	Effect of flow intermittency on the degradation rate of lipids by intermittent contact oxidation process	2018	The 55th Japan Annual Technical Conference on Sewerage
佐藤弘泰	管路内浄化遠隔実験装置の構築	2017	第51回日本水環境学会年会講演集
黑木雄介、佐藤弘泰、味埜 俊、 松坂勝雄、松原善治、玉木聡史	下水の間欠接触酸化処理における微生物担体へ の酸素供給経路に関する検討	2017	第51回日本水環境学会年会講演集
佐藤弘泰	下廃水処理プロセスのバクテリオファージ解析	2017	第 20 回日本水環境学 会シンポジウム講演集
Sotelo, T.J., Satoh, H., Mino, T.	Evaluation of lipid degradation via in-sewer treatment process	2017	Water and Environment Technology Conference 2017
横山誠宏、佐藤弘泰、味埜 俊	間欠接触酸化法による下水処理における有機物 除去性能と硫化物の挙動	2017	第 54 回下水道研究発表会講演集
佐藤弘泰、Sotelo、T.J.	間欠接触酸化法による管路内下水浄化における 酸素収支	2017	第 54 回環境工学研究 フォーラム講演集
黑木雄介、佐藤弘泰、味埜 俊、 松坂勝雄、松原善治、玉木聡史	下水の間欠接触酸化処理における担体の干出条 件の影響	2016	第50回日本水環境学会年会講演集
平野 周、佐藤弘泰、味埜 俊	実験室活性汚泥への実処理場汚泥の植種による 影響	2016	第50回日本水環境学会年会講演集
佐藤弘泰、味埜 俊、須田 亙、 服部正平	活性汚泥法による下水処理過程での細菌相の変 化	2016	第50回日本水環境学会年会講演集
澤野井隆之、佐藤弘泰、 庄司 仁、松坂勝雄、松原善治、 玉木聡史	浄化機能付き下水管におけるミミズを含む無脊 椎動物の環境 DNA を用いた検出	2016	第 53 回環境工学研究 フォーラム講演集
平野 周、佐藤弘泰、味埜 俊	嫌気的有機物摂取能を持たない実験室活性汚泥 への実処理場活性汚泥の添加による影響.	2016	第 53 回環境工学研究 フォーラム講演集
玉木聡史、松坂勝雄、松原善治、 佐藤弘泰、庄司 仁	管路内での間欠接触酸化による下水処理技術の 開発 (第 3 報)	2016	第 53 回下水道研究発表会講演集

著者名	題名	年	会議名
	管路内下水浄化技術における微生物担体中での 酸素収支に関する検討	2016	第 53 回下水道研究発 表会講演集

環境質リスク管理研究室―原著論文

著者	題名	年	雑誌名	巻・号・ページ
Wei, N., F. Nakajima, T. Tobino	Variation of Environmental DNA in Sediment at Different Temporal Scales in Nearshore Area of Tokyo Bay	2019	J. Water Environ. Technol.	17 (3):153-162
Hiki, K., F. Nakajima, T. Tobino, H. Watanabe, H. Yamamoto	Whole transcriptome analysis of an estuarine amphipod exposed to highway road dust	2019	Sci. Total. Environ.	675:141-150
Hiki, K., F. Nakajima, T. Tobino, N. Wei	Sediment toxicity testing with the amphipod Grandidierella japonica and effects of sediment particle size distribution	2019	J. Water Environ. Technol.	17:117-129
Yanagihara, M., F. Nakajima, T. Tobino	Metabolomic responses of an estuarine benthic amphipod to heavy metals at urban-runoff concentrations	2018	Water Sci. Technol.	78 (11): 2349- 2354
Wei, N., F. Nakajima, T. Tobino	A microcosm study of surface sediment environmental DNA: decay observation, abundance estimation, and fragment length comparison	2018	Environ. Sci. Technol.	52 (21):12428- 12435
Wei, N., F. Nakajima, T. Tobino	Effects of treated sample weight and DNA marker length on sediment eDNA based detection of a benthic invertebrate	2018	Ecol. Indic.	93: 267-273
Hiki, K., N. Nakajima, , H. Watanabe, F. Nakajima, T. Tobino	de novo transcriptome sequencing of an estuarine amphipod <i>Grandidierella</i> <i>japonica</i> exposed to zinc	2018	Mar. Genomics	39:11-14
Akio Sohma, Hisashi Shibuki, Fumiyuki Nakajima, Atsushi Kubo, Tomohiro Kuwae	Modeling a Coastal Ecosystem to Estimate Climate Change Mitigation and a Model Demonstration in Tokyo Bay	2018	Ecological Modelling	https://doi. org/10.1016/ j.ecolmodel. 2018.04.019
Yanagihara, M., F. Nakajima, T. Tobino	Predicting effects of copper on reproduction of the estuarine amphipod <i>Grandidierella japonica</i> using metabolic profiles	2017	J. JSCE, Ser. G (Environmental Research)	73: _535- -541
Hiki, K., T. Tobino, F. Nakajima, K. Tsukahara	Duration of life-cycle toxicity tests with the ostracod <i>Heterocypris</i> incongruens	2017	Environ. Toxicol. Chem.	36:3443-3449
Niyommaneerat, W., F. Nakajima, T. Tobino, K. Yamamoto	Development of a chronic sediment toxicity test using the benthic ostracod <i>Heterocypris incongruens</i> and their application to toxicity assessments of urban road dust	2017	Ecotoxicol. Environ. Saf.	143:266-274

著者	題名	年	雑誌名	巻・号・ページ
Hiki, K., F. Nakajima, T. Tobino	Application of cDNA-AFLP to biomarker exploration in a non-model species <i>Grandidierella japonica</i>	2017	Ecotoxicol. Environ. Saf.	140:206-213
Hiki, K., F. Nakajima, T. Tobino	Causes of highway road dust toxicity to an estuarine amphipod: Evaluating the effects of nicotine	2017	Chemosphere	168:1365-1374
Boonyaroj, V., Chiemchaisri, C., Chiemchaisri, W., Yamamoto, K.	Enhanced biodegradation of phenolic compounds in landfill leachate by enriched nitrifying membrane bioreactor sludge	2017	J. Hazardous Material	323, S1, 311-318.
Asif MB, Hai FI, Kang, JG, van de Merwe JP, Leusch FDL, Yamamoto K, Price, WE, Nghiem LD	Degradation of trace organic contaminants by a membrane distillation-enzymatic bioreacotor	2017	Applied Sciences	7, 9, 879
Mahua Saha, Dusmant Maharana, Rina Kurumisawa, Hideshige Takada, Geok Bee Yeo, Andrea C. Rodrigues, Badal Bhattacharya, Hidetoshi Kumata, Tomoaki Okuda, Kebin He, Yongliang Ma, Fumiyuki Nakajima, Mohamad Pauzi Zakaria, Duong Hoang Giang, Pham Hung Viet	Seasonal trends of atmospheric PAHs in five Asian megacities and source detection using suitable biomarkers	2017	Aerosol and Air Quality Research	Vol.17, No.9, pp.2247-2262
尾崎則篤, 和田桂子, 村上道夫, 中島典之, 古米弘明	公表調査データの統計解析による市街地ノ ンポイント汚濁負荷流出量の予測とその信 頼性評価	2017	水環境学会誌	Vol.40, No.3, pp.115-124
Xue, W., K. Yamamoto, T. Tobino, C. Ratanatamskul	Modeling prediction of the process performance of seawater-driven forward osmosis for nutrients enrichment: Implication for membrane module design and system operation	2016	J. Memb. Sci.	515:7-21
Chung, C. M., T. Tobino, K. W. Cho, K. Yamamoto	Alleviation of membrane fouling in a submerged membrane bioreactor with electrochemical oxidation mediated by in-situ free chlorine generation	2016	Water Res.	96:52-61
Tobino, T., J. X. Chen, O. Sawai, T. Nunoura, K. Yamamoto	Inline thickener-MBR: as a compact, energy efficient organic carbon removal and sludge production devise for municipal wastewater treatment	2016	Chem. Eng. Process.: Process Intensif.	107:177-184

著者	題名	年	雑誌名	巻・号・ページ
Xue, W., K. Yamamoto, T. Tobino	Membrane fouling and long-term performance of seawater-driven forward osmosis for enrichment of nutrients in treated municipal wastewater	2016	J. Memb. Sci.	499:555-562
Luo WH, Hai FI, Kang JG, Price WE, Guo WS, Ngo NH, Yamamoto K, Nghiem LD	Effects of salinity build-op on the performance and bacterial community structure of a membrane bioreactor	2016	Bioresource Technology	200, 305-310
Luo WH, Hai FI, Kang JG, Price WE, Guo WS, Ngo NH, Yamamoto K, Nghiem LD	Phosphorus and water recovery by a novel osmotic membrane bioreactor- reverse osmosis system	2016	Bioresource Technology	200, 297-304
Praserikulsak S, Chiemchasri C, Chiemchaisri W, Yamamoto K	Removal of pharmaceutical compounds from hospital wastewater in membrane bioreactor operated under short hydraulic retention time	2016	Chemosphere	150, 624-631.
Boonnorat J, Chiemchasri C, Chiemchaisri W, Yamamoto K	Kinetics of phenolic and phthalic acid esters biodegradation in membrane bioreactor (MBR) treating municipal landfill leachate	2016	Chemosphere	150, 639-649.
Kaewmanee A, Chiemchaisri W, Chiemchaisri C, Yamamoto K	Treatment performance and membrane fouling characteristics of inclined-tube anoxic/aerobic membrane bioreactor applied to municipal solid waste leachate	2016	Desalination and Water Treatment	57, 60, 29201- 29211
Honda R., Watanabe. T., Sawaittayotin V., Masago, Y., Chulasak, R., Tanong, K., Chaminda, G.T., Wongsila, K., Sienglum, W., Sunthonwatthanaphong, V., Poonnotok, A., Chiemchaisri, C., Chiemchaisri, W., Furumai, H., Yamamoto, K	Impact of urbanization on the prevalence of antibiotic-resistant Escherichia coli in the Chaophraya River and its tributaries	2016	Water Science and Technology	73, 2, 362-374.
Tomohiro Kuwae, Jota Kanda, Atsushi Kubo, Fumiyuki Nakajima, Hiroshi Ogawa, Akio Sohma, Masahiro Suzumura	Blue carbon in human-dominated estuarine and shallow coastal systems	2016	Ambio	Vol.45, No.3, pp.290-301